

山口家文書と目録

福田 以久生

Abstract

This report consists of a list of the documents in the possession of Mr. Masaichi Yamaguchi living now at Kamikasuya, Isehara City and the simplified commentary thereof.

One of the ancestors of Mr. Yamaguchi acted as a headman of the village ruled by Mr. Manabe, vassal of the Shogun in the Edo Era, and after the Meiji Restoration he played an active role as a landlord of Ohsumi district and concurrently as a man of enterprise. In particular, Sashichiro Yamaguchi was consecutively district headman, a member of a prefectural assembly of Kanagawa and a Member of the House of Representatives in the 'first Imperial Diet'. The research to make clear his political and economic activities during his lifetime, especially ideological development, when the democratic movement in the Meiji Era and the ideology thereof got more and more active, is most valuable since it shows an aspect of modern history of Japan.

This report includes the outline of the documents of the Yamaguchi, the career of Sashichiro's and the relation between Sashichiro and Sindo disturbance. And the list is made up of two groups of both the documents in the Edo Era and since the Meiji Era.

1. 共同研究の経過と現況

本学数学科助教授山口匡氏は、同家所蔵の近世以来の文書・刊行物・印刷物など、概数約3,000点余の史料の整理を計画された。本県に於いては現在『神奈川県史』の編纂事業が進行中であり、近代篇担当が伊勢原市内の同氏宅を訪問、調査されることも数次に上った。それで、所蔵史料の悉皆整理を意図されたのである。

依頼をうけた筆者は、1976年4月より一般科人文・社会系列の同僚諸賢と相計り、仮りに、「北湘近代史研究会」なるグループを結成、その共同研究として、山口家文書の整理調査を通じて、北湘地域の農村の近代化の過程とその思想的背景を明らかにしようと意図した。

この研究会は、地理学長津一郎、哲学滝本可紀、文学河内光治、社会学孝本貢（のち退会）及び歴史学福田の5人を以て当初結成し、さらに学外者として東海大文学部助手の野崎昭雄他が参加して今日に至っている。幸いに、本学首脳部の好意によって学術研究費の応援支出が認められ、現在第3年次の事業が進行中である。

本研究遂行上、第1に果すべきことが、山口家史料の全貌の把握であることはいふ迄もない。後述するように、山口家は上粕屋村の名主の家として江戸時代に存在

し、明治以降には、北湘地域の農家・地方政治家の典型例として今日に及んでいる。したがって、その所蔵史料は、時代的には江戸時代より明治末年迄、分野別には、文書としては行政・経済から個人的来輪迄、また種類としては、文書・日記・印刷物・図書類迄、広範な範囲にわたっている。そこで、本研究会は、先ず、大きく所蔵史料の内、文書・日記と印刷物その他に大別し、前者を近世と近代とに区分してその整理を進めることにした。そして第3年次を迎えた今日、次のような分類によって、その概要を知ることができた。ただし分類は、近世と近代によって、方法も項目もこととなっている。

A 近世史料

- a 文書 ① 領主旗本間部氏関係文書 128 点
 - ② 名主としての一般文書 95 点
 - b 日記 ① 小田原藩士の歌人吉岡信之の日記 1 冊
 - ② 山口家当主の日記 12 冊 計 13 点
- 総数 226 点

B 近代史料

- a 書類の部 1300 点
- b 書簡の部
- c 文芸の部 (色紙・短冊の類)
- d 印刷物の部

e 文献の部

以上のうち、Aのaについては、目録、釈文原稿が完了し、Aのbについては、その①②ともに釈文原稿がすでに完了、地名・人名・件名のカード（索引用）が一部完成している。

Bの近代史料については、aの目録が完成、b以下については今後の調査整理に俟たねばならず、現在の所、大雑把な分類を実施しただけである。たゞ、Bについては『神奈川県史』資料編や、『地租改正関係史料集』などに部分的に引用、紹介されているものが含まれている。なお、所蔵者の記憶によれば、終戦直後、地租改正関係史料と思われる大部のものが売却された由である。

本稿においては、目録としてAのaの①及び②、Bのaの部分を活字化した。そしてそれらのうち、とくにBのaの概略内容と、山口左七郎の行動、真土事件の二つについての中間報告を提示する。

目録の作成に当っては、近世の部は福田が主となり、横浜市立大学の学生が、近代の部については、東海大学文学部助手の野崎昭雄を主として、同大学学生が担当した。（因みに、日記類の解説・カード作成は、滝本・河内が主として担当している。）

そして、「山口左七郎の行動」については野崎昭雄、「真土事件」については東海大学日本史学科出身の滝沢孝雄が第一次原稿を起草し、これらを福田が整理してまとめた。したがって文責は、第二次稿作成の福田にあることを付記しておく。

2. 近代文書一書類の部一の概要

所蔵史料の内、近代に属するものを型態的に大別すると、書類・書翰・図書の3種である。現在、書類の部1,300点の分類整理を完了している（たゞし、若干の書翰が含まれる）。

書類の部は、(1)左七郎関係、(2)左一（元衆議院議員）関係、(3)左右平（元衆議院議員）関係史料の3つに分れるが、左七郎関係史料がその8割方を占めている。

左七郎関係史料を内容的に大別すると、次の5つになる。

1. 帝国議会関係
2. 大磯郡役所関係
3. 高部屋村関係
4. 各種会社団体関係
5. 山口家関係

次にこれらの史料群について内容的に概観してみ

たい。

1. 帝国議会関係 左七郎は、明治23(1890)年7月、第1回帝国議会開会にともなう衆議院議員総選挙で神奈川県第6区より当選し、自由党に在籍し1期つとめた。その関係から、政府あるいは自由党提出の法律改正案・各地方人民提出の請願書意見書・第1回帝国議会関係配付書類等がある。他の史料群においても同様であるが、残念ながら私的見解あるいは意見等を記録したものはほとんどないと言ってよい。と同時に、採択されたかどうかは別としても、多数の請願書・意見書が残っている。これらは当時の各地方人民の議会に対する期待と要求を分析するための好材料となるであろう。
2. 大磯郡役所関係 左七郎は、明治11(1878)年11月より同14(1881)年11月まで、大住・洵綾両郡の初代郡長であった。この間の史料は、布告・布達が大部を占めるが、意見書・上申書が10余点あり、左七郎の思想面を知るための数少ない貴重な材料となっている。
3. 高部屋村関係 左七郎の居村上粕屋村は、大区小区制から子易村外2か町村の連合村となり、ついで上粕屋・日向・西富岡・下粕屋・七沢を含む高部屋村となり、昭和29(1954)年伊勢原町に合併された。
左七郎が高部屋村会議員をつとめていたことによって、予算決算関係のものが大部分を占めている。その他、高部屋村信用購買販売利用組合関係報告書・高部屋村勸農社・高部屋村青年会規約等が散見する。
4. 各種会社団体関係 左七郎・左一の代には、各種金融業あるいは企業への出資が目立ち、その対象は相模銀行・伊勢原銀行、都南貯蓄銀行・農工銀行・伊勢原電気会社・相武電気会社・伊勢原自動車運輸株式会社・大山鋼索鉄道株式会社・帝国蚕糸倉庫株式会社等の多数におよんだ。このことは、小作地の拡大による農業経営から、有価証券の購入によって利潤の獲得をはかる、すなわち資本主義経済体制への順応という側面を如実に物語っているものと云えよう。
5. 山口家関係 戸籍・辞令・家事・地引簿・山林関係・家計等史料。しかし同家の農業経営の数的実態を把握することは、必ずしも多くを期待できない。

以上、所蔵史料の内、書類の部の内容的概略を述べた。

基本的問題としては、前述の通り、山口家の経済基盤である農業経営の年次的数的実態を把握するには材料的に乏しい面がある。また、例えば明治11(1878)年11月の郡長就任早々に勃発した真土事件、あるいは同17(1882)年に、山口が関係した金融機関共進社が農民負債返済騒擾の攻撃対象となった事件があるが、これら事件及びその前後関係についても、肝心の左七郎の動向に関する直接的な史料は殆んど欠けているといつてよい。前者については後に若干ふれる。また、自由党入党から衆議院議員時代における私的記録も欠けている。これらの点は、現在は未整理の書翰の部を瞥見してみても、今後の補足を期待できるとはいえないようである。

3. 山口左七郎について

1) 初代郡長に就任

大住・洺綾両郡の行政区画は、明治4(1871)年7月には小田原県に属していた。同年11月に小田原県は足柄県と呼称を改め、同9(1876)年4月、足柄上・下郡・愛甲郡と共に神奈川県に編入された。同11(1878)年、いわゆる三新法体制により郡制がしかれ、両郡を一行政単位として大磯駅に郡役所が設置された。この大住・洺綾両郡の初代郡長が山口左七郎である。

2) 出生と生家

左七郎は、嘉永5(1852)年5月23日、足柄上郡金子村間宮家で生れて大住郡上粕屋村山口作助の養子となり、明治5(1872)年10月、家督を相続した(『戸籍謄本』)。上粕屋は、かつて旗本間部篤四郎を含む旗本らの相給の知行地であり、作助は名主をつとめていた。左七郎は地元において副戸長、地租改正取調掛総代人を経て(農政調査会常民文化研究所共編『地租改正関係農村史料集』昭和28年刊)、明治9(1876)年12月に神奈川県十二等出仕として県庁勤務となった。ついで、同11(1878)年3月に依願退職し、同年11月の郡制施行と共に、郡長に就任した(『辞令』)。以後14年の辞任迄の間の官員歴は、次の通りである(『神奈川県史料』所収)

神奈川県平民

山口 左七郎

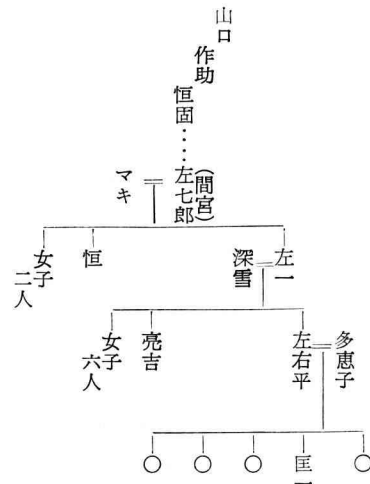
明治九年十二月十一日
補神奈川県十二等出仕
同十年一月十八日
任神奈川県七等属
同十一年三月十五日
依願免本官

同年十一月十八日
任大住洺綾両郡長
同

月給三十圓下賜候事
同十二年六月三日
月給金三十圓五圓下賜候事
同十四年二月廿一日
月給金四十圓五圓下賜候事
同年十一月廿四日
依願免本官

満三ヶ年以上奉職ニ付月給金六十七圓五拾錢下賜候事

また、左七郎を中心とした山口家の「略系図」は次の通りである。(『過去帳』より作成)。



この当時の山口家の経済的基盤を簡単に見ることとする。

表I-IVに示したように明治初期より、畑作を中心として土地を集積し小作経営をしていたことがうかがえよう。

3) 自由民権運動との関りあい

左七郎は、明治7(1874)年の民選議院設立建白、あるいは同8(1875)年の漸次立憲政体詔書の発布という近代初期の政治動向を鋭くとらえていたようである。伊達時(明治11年より郡書記)との間で民選議院論・平民名称論について意見の交換をしている(明治10年3月4日付山口宛伊達書翰)。そして同12(1879)年中頃には、国権優先・富国論を立論するに至った。(『草稿綴』後掲目録III-318)。

それらを要約すると、富国達成が結果的に民権伸張につながるから、逆の民権優先・自由論は否定する。また

I. 明治12年 上粕屋村分		内 訳	
貢 租 上 納 地		地 券 受 分	質 地 之 分
田	4町3反3畝3歩	3町6反2畝11歩	7反22歩
	2413円45銭9厘	2038円27銭	375円18銭9厘
畑	24町8反1畝11歩	21町4反1歩	3町4反1畝10歩5厘
	5177円24銭5厘	4469円69銭7厘	707円54銭8厘
宅 地	7反4畝5歩	7反4畝5歩	
	304円8銭3厘	304円8銭3厘	
山 林		10町9反4畝	2町8反8畝6歩
芝 地		2反20歩	
荒 地		4歩	
藪 地			6畝34歩

「明治12年田畑宅地山林等級地価名寄簿」より作成

II. 明治12年

貢租上納地		子 易 村	三之宮村	神 戸 村
田	反 別	1町3畝25歩	1町3反8畝11歩	6反9畝8歩
	地 価	774円52銭7厘	1030円75銭8厘	396円7銭7厘
畑	反 別	7反8畝10歩	1町4反3畝1歩	
	地 価	114円7銭8厘	305円16銭1厘	

「明治12年田畑宅地貢租上納達控」より作成

III. 上粕屋村分

	反 別	地 価
田	5町1反9畝13歩	2888円13銭3厘
畑	27町5反1畝15歩	5729円32銭4厘
山 林	14町7反9畝9歩	85円11銭1厘
宅 地	1町 7畝7歩	411円33銭3厘
芝 地	3畝7歩	13銭1厘
沼 地	1畝1歩	2銭7厘

田は 明治28年12月現在

畑は 明治32年2月現在

宅地は明治30年5月現在

山林芝地沼地は明治31年2月現在

「名寄帳写」より作成

IV.

反 別	地 価
5町3反8畝5歩	1942円36銭
27町8反7畝	4569円80銭3厘
14町5反3畝4歩	83円2銭9厘
7反3畝15歩	296円21銭3厘
3畝8歩	13銭1厘
1畝10歩	2銭7厘

明治34年11月現在

「地位段別取調簿」より作成

一般人民は、民権民会について判然識別していない現状であるから、民権優先は達成し難い。たゞし富国のための条件、すなわち結社起業生産は、民費賦課の如き住民への過重負担にともなう金融逼迫の状況のために、一挙に国産化するという道は開き得ないとしている。

このような理論は、国権優先=富国兵備 民権従属という三田派=福沢理論の影響を受けていると思われる。それだからこそ明治13(1880)年1月創立早々の交詢社への加入は必然性のあるものであった(明治13年1月7日付山口宛交詢社創立事務委員書翰)。

山口と交流ある人物で、交詢社に加入した者は、
磯貝静蔵 妻木狷介(いずれも県庁課長) 今福元頼
(高座郡長) 伊達時(郡書記) 中川良知(県議会議員)
中村舜次郎(足柄上郡長) 福井直吉(県議会議員)

等があげられる(参考、藤井松一「自由民権期の交詢社名簿」立命館大学人文科学研究紀要24号)。

4) 国会開設の請願

ところで明治13(1880)年は国会開設願望の民権運動が全国的規模でひろがった年である。神奈川県においても同年2月の第3回地方官会議傍聴に県議会議員が上京し、各府県会議員との接触の中で独自の国会開設請願運動の着手を決定した。その内で、大住・海綾両郡の国会開設請願運動については、郡長として「探聞書」(同III-341)なるものを山口は作成している(「各官員任免及賞与書類」同III-341)。それによって郡下のこの運動についてみてみよう。

地方官会議からの帰郡後、議員福井直吉・中川良知・杉山泰助が主唱者となって3月5日より運動に着手し、17日に今井栄次郎(県議員)もこれに加わった。彼等は檄文を作成し戸長あるいは有志の徒に賛同を求めた。その結果、大住・海綾両郡においては5月上旬には約3500余名の同志を得たという。そして他郡との連合会を4月25日に江ノ島において開催し、5月24日には上粕屋鶏川九兵衛宅にて、請願手続についての打合せをもった。運動費は、自費または有志者の出資によっている。

5) 建議書の起草

国会開設建議書は慶応義塾卒業生(「探聞書」では義塾生となっているが、これまでの研究ではその卒業生で小田原の士族松本福昌であることがあきらかとなっている)が草案を作成し、福沢が添削したものである。これらの運動をすゝめていく上で、人民をまどわしたり強迫の手段をとって運動に参加させた形跡は見当たらないとしている。明治13年(1880)6月12日付の「郵便報知新

聞」府下雑報にも、運動の経緯についてはほぼ同様に報道されている。たゞ彼らの運動の中で山口を含めた指導者たちが、郡下の人民を「愚民」あるいは「無智の細民」と表現している点は、いわゆる平民民権ではないことを明らかに示す一つの政治意識と見做される。

前述した史料中にある「檄文」は、有志勃起の効果をあげる好材料となったようであるが(明治13年3月22日付山口宛中村舜次郎書翰)、この檄文は各郡によって文章の長短があったようである(内田哲夫「相州九郡国会開設建言書をめぐって」小田原地方史研究(1)、遠藤憲雄「郷土における国会開設運動」大和市史研究2、平塚市「平塚市図録」昭和47年刊)。これらを要約すれば、国会開設は時勢のしからしむる所であり、開設こそ明治8年勅諭尊重の顛れである。そして、政府に開設を願望する目的は、一つは国民の自由福祉を保有することであり、他の一つは天皇の隆恩に報いることにあるとする。

このようにして神奈川県での国会開設運動は、福沢論吉作成の建議書と9郡559町村23,959人の署名簿を総代人9名の名をもって6月7日、元老院へ提出するに至るのである(最初の提出の際の総代人は9名、訂正引換のため下付されてからは5名追加、再提出の際は14名となる)。

ところで建議書が福沢によって作成される人脈の経路については、十分判明していないが、山口がこの運動に対して末端官僚としての厳格な立場にあって監視の眼を光らせていたとは思われず、福沢へのルート of のいずれかの位置にあって連座していたものと思われる。となると先の「探聞書」を作成し県令に上申したことは、厳格な官僚意識にたった探索というよりも、職務上遂行しなければならなかった単なる公務処理であったとみるべきであろう。

さてこのような政治状況の中で、山口は個人として二つの行動を開始する。

一つは、明治14(1881)年3月の金融機関「共進社」の創設である。これは、資本金9万円で貸付預金を業務とするもので出資者は51名の富農層により構成され、社長梅原修平は1万円、山口は4千円を出資している。この会社の設置の意図するところは、先に述べた結社によって企業をおこす基礎として、地域的に金融体制を確立しようとしたことにあったとみるべきであろう。

第二に政治結社があげられる。明治13年頃からは民権派ジャーナリストによる地方啓蒙運動が活発となり、それにともない地方における政治学習熱が昂揚した(渡辺奨「自由民権運動における都市知識人の役割」歴史評

論 165 号以下)。山口自身も、このような情勢に強く刺激されたことと思われるが、郡長という立場から自ずとその行動に限界があり、穏健裡に結社内のリーダーシップをとっていったようである。そして伊達時・中川良知・山口書輔あるいは中島信行の協力を得て、14 年 8 月、大磯劇場において聴衆千余名を集めて「湘南社」の創立大会を開くに至った。そこにおいて自由党系や桜鳴社系の弁士を招き、演説討論会を開催し政治学習の向上につとめた。

彼はこの湘南社設立前にもいろいろの活動をしている。まず講学会をつくり、講師に末広重恭（国友会々員、自由党幹部）、大石正巳（国友会々員、自由党幹部）中島信行（自由党幹部、湘南社設立までの山口・伊達の協力者の一人）藤田茂吉（交詢社々員）高木喜一郎（交詢社々員）等を招き集めたことがある。さらに、沢田弼（沢田欽三郎ともされて同一人物か判然としない。後、湘南社講師）細川瀧（明治 14 年まで文部省官吏、桜鳴社々員、自由党々員、湘南社講師）二人も招かれたが、二人はともにのちに湘南社設立に協力している。

その一人沢田は、講学会の学則を山口に依頼された。

「(前略) 講学会規約一篇ヲ起草シ条款ノ意案等ヲ中島君ニモ相諮リ候処、同君ノ意存モ拙生ノ意ト大ナル異見モ無之候ニ付、右草案一篇ハ、直ニ同君ヨリ盟兄ノ御手元ヘ郵送シ致候筈ニ有之候、不知既ニ御落手ノ上御覧聞シ下候哉、尤モ右会約考案ノ儀ハ、拙生一個ノ所見ヲ以テ起草候ヘハ、御異見ノ所ハ十分ニ御修正御加工被下度候(後略)」(明 14 年 9 月 8 日付 沢田弼書簡) と。

沢田と中島信行が、講学会規約を起草するに当たり、山口に意見を求めていることがわかる。

6) 郡長辞任

一方、郡長の地位にとどまっていた政治活動の限界も感ずるようになった山口は、県令との憲法論争(大畑啓「民権期における地方政社の憲法論議」『神奈川県高等学校教科研究会倫社政経部会編〈倫社・政経研究〉』9)や「開拓使官有物払下事件」に対する湘南社々員のつきあげ等によって進退問題を意識し、ついに 14 年 11 月、郡下町村戸長にその辞職を惜しまれながらも依願退職する。そして湘南社々長の座に就いた。かくして年 4 回の演説討論会を開催する(「湘南社規則書」『神奈川県史』資料編 13)。一方平常の学習会を通じ民権思想の啓蒙発展をすゝめたのであった。(討論内容の一部は前掲「地租改正関係農村史料集」にある)。

この辞職に当たっての県令との意志の相違について若干ふれておこう。それは県令野村靖は憲法問題について独

逸憲法を受入れようとし、山口は英国憲法をうけいれるべきことを主張したらしい。

「議院の決議を要せず大臣宰相を直選」(『東京横浜毎日新聞』、明治 14 年 11 月 29 日号)にすることは、民権思想の主体性を欠くものと山口は判断し、野村に真向から対立した。詳細は別稿に譲るが、このことが郡長辞職の一原因であったとも見られる。

7) 湘南社

では「湘南社」とはどのようなものであったのか。『神奈川県史』資料編 13、80-81 頁所収の規則書によってその内容を見てみよう。

「総則」の「第 1 条」に「本社ハ諸般學術ノ研究ト智識ノ交換」,「第 3 条」に「演舌会若クハ討論会ヲ開ク」と述べ、学習結社の色彩を強くうち出している。「學術ノ研究」を発展させることは、それによって漸次に社会への改進をはかろうとする湘南社の真情を掲げたものであろう。また「智識ノ進達」をはかるため、各支所(大磯・曾屋・金目・伊勢原)をもうけ、演説討論会を月に一度は開催し各自の啓蒙思想の向上に勉めることを定めた。

「社則」の「第 8 条」には、「事務局」を設置、「社員ノ諮詢」に答えることとしている。このような内容をもつ湘南社の規則からこの湘南社とは学習討論を主とした教育啓蒙機関ということがわかる。同時に、演説会等の手段で、地方啓蒙を図る政治結社の性格を併せもっていたといえよう(大畑哲 前掲論文)。

湘南社の活動は、堀口昇(国友会々員、自由党)の「相武巡回の記」(東京横浜毎日新聞明治 15 年 5 月 7 日号)によって、その盛況ぶりがわかる。それによると、「各々其思想を述べられ、或は諧謔を以て聴者のおとがいを解かしむあり、或は慷慨悲壮にして切齒扼腕せしむるものありて、頗る盛会なり」というありさまだった。

8) 政界への進出

山口は、15 年(1882)10 月に自由党に加入し、のち大住郡より県議會議員に選出され、23 年(1890)7 月第 1 回衆議院議員選挙で第 6 区(大住・海綾・足柄上・下郡)より、第 5 区(高座・津久井・愛甲郡)の中島信行とともに選出された。

院内においては天春文衛・脇柴太郎等と共に地価修正派地主議員として活動した(安良城盛昭「第一議会における地主議員の動向」『社会科学研究』16 卷 1 号)。また、明治 24 年度予算をめぐる立憲自由党内の旧愛国社議員の離反と政府加担によって党が分裂したときには、山口は片岡健吉・林有造・植木枝盛と共に「自由倶楽部」を

組織した(升味準之輔『日本政党史論』第2巻〈第5章第2節〉)。

衆議院議員を1期つとめた山口は明治25年(1892)4月、高部屋村会議員に当選。明治45年(1912)3月に死去した。

4. 真土事件

1) 事件の概要

真土事件とは、明治11年(1878)10月26日の夜、神奈川県大住郡真土村(現在平塚市)の松木長右衛門の家が、冠弥右衛門ら25名の農民に襲われた事件である。長右衛門とその家族雇人等7名が殺され、4名は傷を負い、家屋等12棟が焼き毀された。

一見、強盗放火殺害の兇悪事件の如くに見えるこの事件は、実は真相においては意外な内容を含んでいる。

当時、明治政府の政策として地租改正事業が全国的に進められていたが、その中で質入主の冠弥右衛門など64名の零細農民は、質うけ人松木長右衛門に、その質地受戻しを交渉し、自分たちの所有地をとり返そうとした。ところが、長右衛門は、その申し出を頑く拒否しつづけた。実はすでに、それらの質地を自分の名義としてしまっていたからである。すなわち、土地所有権の帰属の問題から、この事件は端を発した。再三にわたる冠弥右衛門らの質地受戻しの申し出に対して、長右衛門はこれを拒み続けた。そしてついに、前記の如き暴発に至ったのであった。

真土事件が県下に知れわたるや、人々の反響はものすごく、加害者に同情の声が湧いた。中でも、県下三郡(大住・海綾・愛甲)の豪農(区長・戸長・村用掛・村惣代等)は、136ヶ村、総勢1万5千人の署名を集め、神奈川県令野村靖に減刑歎願書を提出した。

その歎願書には、父母妻子を顧みず、「自ら暴殺を行はんとする者は、思ふに怨悪の深き恨怒の至り」(『神奈川県史資料13近代・現代(3)』所収)と、まず真土村民に深い同情を寄せている。そして冠等の暴挙に出たことを、個人的な「私怨」「利害」ではなく、「一村一郷の公怨」「一村一郷の利害関係」にでたものと述べている。この点から、真土事件に対する豪農らの意識の深さと思想的発展を知ることができる。

この真土事件については、すでに大畑哲氏(『神奈川県における自由党の成立過程』『神奈川県史研究』2号)、渡辺隆喜氏(『神奈川県地租改正事業の特色』『神奈川県史研究』4号)、井上清氏(『明治維新』『日本の歴史』20巻、中央公論社)などが述べている。

2) 県及び山口左七郎の対応

山口左七郎は、先述のように明治11年11月18日に、大住・海綾両郡長に就任した。つまり真土事件の僅か20日余り後にすぎなかった。山口は郡長就任に当り、まさに前途多難なスタートを切ったといえよう。

先の歎願書をうけた県側は、真土事件にどのように対応したのであろうか。県令野村靖は「右大臣岩倉具視宛「真土事件顛末上申書」(前掲、『神奈川県史』13所収)の中で、「(前略)維新日猶浅ク法庭ノ律令漸ク調フニ近シトイヘトモ、所謂民法ノ制未タ全タカラス、徒ニ新規成文ノ律アル為ニ、旧来慣習ノ法ヲ破ルニ似タルヲ以テ、奸人之ニ乗シテ其意ヲ逞シフシ、此際最行政事務ノ障碍ヲナス。則チ前条真土村ノ如キ実ニ此外ニ出サル様相見ヘ候間、何卒実況御酌料有之、追テ冠弥右衛門以下口供結案ノ上ハ、特別ノ思食ヲ以テ寛典ノ御詮議被仰付候様仕度」と、維新政府による法令の体系が未だ整っていないことをあげ、冠等に「御酌料」の上「特別ノ思食ヲ以テ寛典」にされるよう、上申している。つまり、県側としては真土事件の加害者に、寛大な処置を与えられんことを政府に願っているのである。

郡長山口は、県側のこのような対応に即して、真土村民の苦境に同情を示し、真土村民と県側の間をとりもったことが、次の書簡から窺える。

「真土村拝借之義ニ付、御来示拝承備用証書難形其懸ヘ申談シ別紙差上候間落掌有之候。将又金円下付之義、今以大蔵省ヨリ御回金無之ニ付日々催促中ニ有之、然ルニ次第ニ時月相立村民ヘモ甚基ノ毒ニ付 彼是詮議之上県庁諸用金之内ニテ一時繰替之義、漸ク皆猶予相附シ繰口ニ相成候。就テハ該金(中略)ハ県庁差立貴庁ヘ差向相成候筈ニ付、到着ノ上ハ直チニ貴官ヨリ仮受取書御差出置」(年月不詳、県五等属 山田雪助書簡)

つまり真土村民が長右衛門に質地した土地が譲り返されるために、真土村民救済金を貸し与えられるように努力しているのである。まず県側の努力によって救済金が下付されれば、自分がそれを真土村民に渡そうといっている。

山口自身は、真土事件の加害者と真土村民に対し少なからず同情を感じていたらしい。先にあげた豪農らの減刑歎願運動もさることながら、さらに真土村隣村の八幡・四之宮・中原上宿・大神・吉際・酒井の各村総代人(戸長)合せて17名が連署して県令野村に真土村救助の借金を願出ている事実がある。

県側でも、真土事件の発端は、地租改正に絡む質地問題による土地所有権帰属の紛争であることを十分認識し

ていた（前掲「真土事件顛末書」）。左七郎自身おそくそのことは理解していたであろう。明治12年1月12日に、山口に宛てられた足柄下郡々長内山の書簡には、

「（前略）落幡村動揺ハ、地租延納等ノ原由ニ可有哉。鎮撫方御尽力之御事口推察候」と、大住郡落幡村においても、地租改正作業に絡んだ不穏の動きがあることを知らせている。

真土村民の困窮をこれ以上放っておくことは不得策であることを、彼は十分知っていたにちがいない。明治8、9年には全国的に地租改正に絡む事件が21件にのぼり、また県下においても、同10、11年に真土事件を入れて4件の騒動・紛争が起きている。これらの風聞や情報を、県および郡長山口は、何らかの方法で承知していたと思われる。

以上の如く、真土事件はその減刑歎願運動と共に、神奈川県下で注目を集めた大事件であった。それ故真土事件の処置をいかにするかは、県側と政府にとって大きな課題となった。

3) 結果と課題

明治13年5月20日の一審判決で、冠弥右衛門他3名は斬罪、福田小左衛門他6名が懲役8年317日、他14名は懲役3年を受けた。後に、冠弥右衛門と他3名は二審で罪一等を減ぜられた。

冠等の24名が、長右衛門はじめ7名を殺し4人に傷

を負わせたことを考えれば、一審の判決は妥当といえよう。しかし減刑歎願運動に見られる豪農らの動き、その真土事件に対する意識の深さ、全国的紛争の激化、事件の高揚等を考え合せた政府は、一審判決で威信をしめし、二審で減刑という酌量手段におよんだと推察されるのである。

この処置は減刑歎願運動を推進した豪農らに歓迎されたことは当然であった。山口宛に減刑歎願者の5人から真土事件の処置に対する謝告文が送られて来たが、それには

「客年以来各位ノ御配慮ニ預り候真土村事件ノ末、国律ニ照シ一旦死刑ノ宣告ヲ蒙リタルモノ四名、懲役八年三百十七日七名、同三年十四名、右謹テ其罪ニ座セリ。然ルニ朝恩ノ厚キ事情酌量セル廉アリトテ、（中略）死ヲ減シ懲役終身ニ処セラレタリ。依テ各位ニ報道旁ラ御厚意ヲ謝ス」（同III-337）とある。

この事件に際しての山口の行為を、郡長という立場に終始して事務的に処理したにすぎないものとみるか、なお一歩進んで、より深く真土村民の貧窮に同情をよせ、そこに積極的に応援の意図を潜めつつ行動したのか、はたまた、自分自身が被害者松木に近い経済的地位＝豪農というところから生れた保身の本能のなせるものであったのか、そのいずれであるかは、即断はできない。今後の研究課題として残る処である。

山口家文書目録(I) 近世のI

例 言

1. こゝに収録した文書は、山口匡一家所蔵文書のうち上粕屋村を知行所とした旗本間部氏に關係する文書群である。いうなれば、「間部氏文書」と換言してさしつかえない。明治4年を以て下限とした。
2. 編年順に配列し、年紀の明らかでないものは、干支の記入のあるもの、年を欠き月日の記入のあるもの、一切の年紀表記のないものの順序に並べた。
3. 記載の項目は、通し番号、表題、年紀、差出人、宛名人、形状の順序とした。表題は、整理者が仮りにつけたものは（ ）内にいれ、他は文書記載のものにしたがった。
4. 書簡類34点（No. 87～120）が、一括して同一封筒に収納されていた。年紀を推定によって明らかにしうるものを含むが、今は一括して記録しておく。

番号	表 題	年 紀	差 出 人	宛 名 人	形状
1	間部隠岐守履歴書 并親類書	享保 6・6	間部隠岐守	大久保長門守	状
2	間部主水養子相続ニ付拝領高 并親類書	元文 1	間部主水	杉浦弥一郎	状
3	遠類書	元文 5・3	間部主水		状
4	親類書・遠類書	宝暦 6・2	間部玄蕃	森川下総守 大久保平四郎	冊
5	親類書・遠類書	明和 4・5	間部玄蕃	松平藤九郎	冊
6	親類書・遠類書	明和 8・8	間部主水		冊

7	間部氏系譜	寛放 2・4	間部若狭守		冊
8	親類書・遠類書	寛政 4・2	間部主水	近藤左京	冊
9	先祖書	寛政 3・6	間部主水		冊
10	先祖書	寛政 7	間部主水		冊
11	氷川台様系譜写(間部氏系譜)	寛政11・9	間部虎吉		冊
12	系譜(間部氏系譜)	寛政11・10	間部虎吉		冊
13	系譜(間部氏系譜)	寛政11・12	間部主水		冊
14	系譜(間部氏系譜)	寛政11	間部主水		冊
15	系譜(間部氏系譜)	寛政11	間部主水・間部式部		冊
16	系譜(間部氏系譜)	寛政11	間部主水		冊
17	系譜(間部氏系譜)	寛政11	間部主水		冊
18	系譜書継(間部氏)	寛政12・11	間部式部		冊
19	系譜(間部氏系譜)	寛政12・11	間部主水・間部式部		冊
20	系譜(間部氏系譜)	享和 3	間部式部		冊
21	系譜(間部氏系譜)	享和 3	間部式部		冊
22	系譜(間部氏系譜)	享和 3	間部主水・間部式部		冊
23	系譜(間部氏系譜)	享和 年間			冊
24	先祖書	"	間部式部		冊
25	親類書	文化 6・6	間部鉄四郎	西郷筑前守・久津見又助	冊
26	親類書・遠類書	文化 7・3	間部鉄四郎	西郷筑前守・久津見又助	冊
27	系譜之内御尋之趣御答書	文化 8・4	間部鉄四郎		冊
28	親類書	文化 9・5	間部鉄四郎	松平美作守・久津見又助	冊
29	遠類書	文化 9・5	間部鉄四郎	松平美作守・久津見又助	冊
30	親類書・遠類書	文化10・12	間部鉄四郎	松平美作守・竹尾善助	冊
31	三河・伊豆・相模 国高役金納証文	文政 3	間部主殿頭	御勘定所	冊
32	御親類書控	4・8	"		状
33	親類書	文政 5・10	間部主殿頭	植村駿河守他11名	綴
34	"	"	"		状
35	系譜(間部氏系譜)	文政 6			冊
36	明細書(")	8・11	間部熊五郎		状
37	系譜(間部氏系譜)	天保 9・9・14			冊
38	親類書・遠類書	天保 9・11	間部熊五郎	松本理右衛門	冊
39	親類書・遠類書	天保 9・11	間部熊五郎	戸塚備前守	冊
40	先祖書	天保10・4	間部熊五郎		状
41	親類書・遠類書(同写とも)	10・4	"		冊
42	系譜(間部氏系譜)	天保11・8	間部熊五郎		冊
43	親類書	天保11	間部熊五郎		冊
44	先祖書	天保年間	間部熊五郎		冊
45	親類書(断簡)	弘化 2・3	間部熊五郎		綴
46	系譜之内御尋之趣御答書	弘化 3	間部熊五郎		冊
47	遠類書	弘化 4・7	"		冊
48	親類書	"	"		冊
49	由緒書	弘化 4			冊
50	親類書	安政 1・12	"		冊

51	遠類書	安政 1・12	間部熊五郎		冊
52	親類書・遠類書	安政 5・8	"	松平筑後守・桂山三郎五郎	冊
53	親類書・遠類書	安政 5・8	"	松平筑後守・桂山三郎五郎	冊
54	親類書	6・12	間部季三郎		狀
55	御用番内藤紀伊守殿江御届	文久 2・5・22			綴
56	遠類書	文久 3・3	間部熊五郎	太田筑前守・進藤三左衛門	冊
57	親類書	文久 2・11	石野千佐		狀
58	親類書	文久 3・3	間部季三郎		狀
59	親類書控	文久 3・12	"		狀
60	滞陣中細日記	慶応 1			冊
61	親類書	慶応 2・11	間部美作守		冊
62	賀養子願書	慶応 4・1	間部内膳正		冊
63	悪口(落書写)	慶応 4・4・1			綴
64	召出狀	慶応 4・8	鎮将府	間部内膳	狀
65	召出狀	慶応 4・10	鎮将府	間部内膳正	狀
66	支配地引継ニ關ス書狀	明治 1・4・17	組々名主・諸間屋仲買		綴
67	認メ来狀ノ写	明治 1・4・18			綴
68	松平修理大夫彈該狀	明治 1・閏4・4			冊
69	松平修理大夫彈該狀	明治 1・4			冊
70	家督安堵狀	明治 2・8・4	太政官	間部式部	狀
71	親類書	明治 4・1	間部篤志郎		冊
72	東京府辞令	明治 4・10	東京府	間部篤四郎	
73	知行割	戊子年 2・5			狀 3
74	民部省発受取手形	巳年12	民部省	間部篤志郎	狀
75	願書	2・7	間部内膳	弁事役所	狀
76	領内相州七五三引村五靈社神位之事	6・4	吉田二位	間部隠岐守	狀
77	遠類書(母方)	6・23	小川惣大夫		狀
78	遠類書(母方)	6・24			狀
79	御統書	7・			狀
80	差紙	8・3	□官役書	間部内膳・同式部	狀
81	在府兵隊人数取調可申出候事	8		間部内膳	狀
82	格式高等追而被仰出候事	8			狀
83	(病氣に付)隠居許可	8	太政官	間部内膳	狀
84	書狀	9・29	山本伊勢守他	間部内膳正	狀
85	達(知果事随行先徴発の事)	9	太政官	間部内膳正	狀
86	辞令(東京府中取締御免)	12	行政官	間部内膳正	狀
87	書簡(34点)				狀
120					
121	徳川家系譜写				狀
122	邸宅下賜証明書			間部内膳	狀
123	拝領不許可狀			間部内膳	狀
124	御譜代之訳(幕府組織等)				綴
125	山都瓢談集(京都ノ風聞書)				冊
126	系譜書式				冊

127 先祖書雛型

128 親類書

岡野啓之助

冊
綴

山口家文書目録(II) 近世のII

例 言

1. こゝに収録した文書群は、上粕屋村名主山口家の家蔵文書である。近世の名主家伝来のものとすれば、総数は意外に少なく、散佚したものが少くないと思われる。
2. 配列は、項目別の分類(例えば、土地とか家政とか交通とかの)を一切行わず、編年別とした。理由は、総数がそれほど大量でないからである。
3. 掲載順序は近世の(I)と同じく、番号、標題、年紀、差出人、宛名人、形状の順序である。年紀不明のものの取扱も亦、前項に同じ。
4. 「日記」については、現在内容的な検討が完了していないので、筆者や年代などが確定できない。とくにNo.214の矮宅記事」は、小田原藩士吉岡信之のものであり、何故に山口家に伝存しているのか、今後の研究に俟たなくてはならないことを一言しておく。

番号	表 題	年 紀	差 出 人	宛 名 人	形状 数量
129	相模国大住郡粕屋庄公所坂間郷田畑御検地帳	寛文 5・9・24	名主三郎兵衛		冊
130	相州大住郡長持入部御水帳写	寛文 6・4	名主三郎兵衛		冊
131	田方水帳写	寛文13	清水安左衛門・石川清兵衛		冊
132	畑方水帳写(1~4)	寛文13	清水安左衛門・石川清兵衛		冊
133	屋敷帳写	寛文13	清水安左衛門・石川清兵衛		冊
134	分水帳写	寛文13	清水安左衛門・石川清兵衛		冊
135	金子借用証文	享保 3・12	左兵衛	佐次右衛門	状
136	山下幸内表書写	享保 6・3・25	山下幸内		冊
137	新改正当御公家鑑	寛保 2	出雲寺和泉掾		冊
138	田畑譲り地改帳	宝暦 9・3	名主宇右衛門他4名		冊
139	助郷御伝馬証文之写	寛政 1・4・3	山口左司右衛門		冊
140	銘鑑	寛政11	三神左司右衛門		冊
141	譲進申証文	文化 4・1	曾左衛門	平左衛門	状
142	下総国高役金約証文	文政 1	間部主殿頭	御勘定所	冊
143	田地小作預証文	文政 6・3	佐兵衛	佐治右衛門	状
144	先納証文	文政 7・12	名主源右衛門・甚兵衛	佐治右衛門	状
145	宗源寺本堂修覆頼母子仕方帳	文政 9・11	宗源寺世話人		冊
146	田地小作預り証文	文政11・3	庄蔵	佐次右衛門	状
147	御改革御取締筋ニ付組合貳拾五ヶ村役人連印帳	文政11・6			冊
148	菓之覚	文政11・12	石蔵山佐印		綴
149	山林売渡申一札	文政12・8・28	左司右衛門		状
150	年中御勝手向御入用積帳	天保 4・4	山口左司右衛門		冊
151	山口家之由緒書	天保 5			冊
152	質地書入借用証文	天保 6・12	喜兵衛	佐司右衛門	状
153	覚(榎木売買証文)	天保 6・12	久右衛門	専次郎	状
154	御詫下ヶ書(家内ノ老母取扱ニ付)	天保 6・12	浦次郎	山口左司右衛門	状

155	絵図入質地証文	天保 8・12	亥の吉	左司右衛門	状
156	質地書入借用証文	天保 9・3	和吉	左司右衛門	状
157	百姓藤右衛門倅行方不明之一件	天保12・12	藤右衛門		状
158	御知行所米金納辻仮積帳	天保12			冊
159	村内小前役人馬取極メ受書	天保13・2			冊
160	一ヶ年御暮方見積	天保13・12			冊
161	御屋敷様一ヶ年御暮方見積覚	天保13・12			冊
162	日光御供社諸御入用勘定控帳	天保14・4			冊
163	農間商売取調書上帳	天保14	上槽谷村	関東御取締御出役 渡辺園十郎	冊
164	先納借用証文	弘化 2・3	名主利兵衛	佐次右衛門	状
165	日記帳	弘化 2・6			冊
166	衣類夏冬惣控帳	弘化 2・7	山口隣之助		冊
167	道中日記	弘化 4・1	山口隣之助		冊
168	御詫入申一札之事	弘化 4・12	定五郎	左司右衛門	状
169	近海御順見	嘉永 3・5			冊
170	異国船度々渡来ニ付公儀ハ被仰出候御触書之写	嘉永 3			冊
171	御請書 (風俗取締り)	嘉永 4・2			冊
172	御請書 (縁談 并ニ地借り店借り之儀被仰出候ニ付)	嘉永 5・3			冊
173	為取替規定一札之事 (書状)	嘉永 5・6・3	名主市藏他		状
174	預り申一札之事 (書状)	嘉永 5・8			状
175	定免割付之事 (書状)	嘉永 6・1	金田庸右衛門		状
176	異国船渡来ニ付人足差出等ニ付書状	嘉永 6・3	金田卓兵衛	山口左司右衛門	綴
177	うわさ草 (アメリカより差出候書翰の写)	嘉永 6・6			冊
178	密書 (アメリカより差出候書翰の写)	嘉永 6・8	山口作助		冊
179	頼母子・満会金・三組立会諸勘仕立金残金割渡帳	嘉永 7・7	五兵衛他	山口左司右衛門	冊
180	御鉄炮証文 (安政3~安政7)	安政 3・3	名主善兵衛		冊 3
181	秋山分田畑書抜覚	安政 5・3			冊
182	年貢皆済目録	安政 5・12			状
183	外国御奉行所ハ被仰渡諸印帳写	安政 6・6			冊
184	庚申夜話	万延 1			冊
185	所々ハ預り金覚	万延 2・1			冊
186	養子貰請一札之事	文久 1・9	浅右衛門	左司右衛門	状
187	和宮様御下向御用ニ付、平塚宿加助郷江当方助郷人馬触書控	文久 1・11・7			冊
188	相模国大住郡上粕谷村人別帳	文久 2・3	名主庄兵衛		冊
189	定免割付状 (上粕谷村)	文久 3・1			状
190	大久保加賀守様御家来従京都親許迄差上候控写	元治 1・9・13			冊

191	入置申一札之事	元治 1・12	上粗谷村	山口作助	状
192	山口作助住居地年貢免除ニ関スル一件	元治 2・2	金田庸右衛門・金田卓示	山口作助	状
193	諸控	慶応 1			冊
194	御進登御供上坂帰府土産控	慶応 2・9・24	山口作助		冊
195	住連引屋敷土蔵普請諸式覚	慶応 2	山口作助		冊
196	和漢茶談集	慶応 4・1			冊
197	五ヶ条ノ御誓文・御宸翰(印刷)	慶応 4・3			冊
198	土地相続願の一件(書状)	明治 7・12	惣左衛門他 8 名	地頭所役人	状
199	申置書	明治 1	山口恒固	山口左七郎他 4 名	冊
200	御伝馬金控帳	明治 2・1			冊
201	普請中手伝人足控帳	明治 2・9			冊
202	諸入用ノ出勘定帳	明治 3・7			冊
203	年貢皆済目録(御收納割付之事)	明治 3・10	井関斉右衛門		状
204	御收納皆済目録	明治 4・1	伊関斉右衛門		状
205	候用願	午年 1月15日	山口鉄治郎	山口佐次右衛門	状
206	人馬数宿所等御先触書付	戊年	林田忠蔵		状
207	御廻状之写	8月	中山誠一郎他		状
208	御用先触人馬割付ノ一件				
209	年貢輸送通知	11月 4日	山口左七	金田半兵衛・上田佐兵衛 金子臣平	状
210	御触書写(主として川除普請に金銀貨交換及び金銀具使用禁止の件)	11月	金田庸右衛門		状
211	地震に付御触				状
212	新增家伝領集卷之二				冊
213	方位秘書				冊

日記の部

No	表 題	冊数	執 筆 者	収載年月日
214	1 矮宅記事	1	吉岡信之	文久2・3・4~元治2・12・9
215	2 その日しらべ	1	未詳	慶応1・1・1~慶応4・1・20
216	3 その日しらべ(前欠)	1	未詳	? 1・10 ~ ? 6・29
217	4 その日しらべ	1	(間宮仁三郎カ)	明治2・1・1~3・2・4
218	5 その日しらべ第4号	1		明治3・2・1~同年12・29
219	6 その日ぐさ 七	1		明治6・1・1~6・12・31
220	7 その日ぐさ 九	1	此 君 亭	明治8・1・1~8・12・31
221	8 その日ぐさ(前欠)	1		明治10・1・3~12・31
222	9 その日ぐさ 十二号	1		明治11・1・1~12・31
223	10 その日雑誌	1	山口隠居	" 12・4・11~11・15
224	11 その日ぐさ	1		明治14・5・1~10・19
225	12 松風遺蕉 次編	1	山 口 奥	未 詳
226	13 " 三集	1	"	未 詳

山 口 家 文 書 目 録 (III)

例 言

1. 本目録は「山口家文書目録、書類の部」として整理分類した。但し、若干の書翰が含まれている。
2. 史料はその内容に応じ大小の項目をたて、必要に応じて○印で細項目を示した。
3. 史料目録の記載は、表題、作成年月、形態、整理番号、作成者または差出人、宛名、の順とし、合冊、合綴、同封、添付の史料はそれぞれの表現をもって改行し同上の形式で記入した。注記事項も改行のうえ記入した。
4. 表題は原表題をとったが、表題のないものは〔 〕で仮題とした。また、原表題だけでは内容が判明しにくいものは〔 〕でもって原表題の前後に補記を加えた。
5. 統一表題のない合綴のものは、史料の最初のものから記載し、ついで合綴として改行し記載した。
6. 作成者または差出人および宛名には、役職名、地名などを付した。
7. 作成年月の推定のないものは〔 〕を付した。

目 次

帝国議会	蚕種検査法	文書留	湘南地区
法律改正案	関 税	上申・意見書	中郡地区
選挙法	鉄道敷設	願 届	神奈川県
弁護士法	北海道論	人 事	その他
所得税法	府県制	地 価	組合・結社
出版・結社	予 算	租 税	地 図
地価修正法	水 産	軍 事	山口家
議院法	所得税	その他	家
銀行法	間接税	高部屋村 (含聯合村)	戸 籍
府県郡制	火薬取締	村会開会・議案	辞令・証書
売薬法	徴 兵	・決議	褒 賞
鉄道拡張	煙草税	例 規	吉 凶
徴兵令	小作条例	事務報告	諸訴願届
民 法	売薬法	村有財産	経 営
小作法	その他	土 地	土 地
請願・意見書	予 算	租 税	山 林
衆議院選挙法	衆議院	訴 願	小 作
出版・結社	議 院	教 育	家 計
弁護士法	議 員	組合団体	収 支
地価修正	選 挙	その他	貸 借
商 法	自由俱樂部	各種会社	諸家計
菓子税	地価修正運動	金 融	学 芸
治 水	その他	電 力	手 記
公娼廃止	大磯郡	運 輸	その他
教育制度	布告・布達	その他	補 遺
酒造税	県議会	農 会	

帝国議会	政府弁護士法按	明治23年12月	冊(活)	2
法律改正案	所得税法			
衆議院選挙法	所得税法	〔明治23年〕	綴(墨)	3
衆議院選挙法	〔所得税法改正法案及改正理由書〕			
〔新井章吾〕		〔明治23年〕	綴(活)	4
弁護士法	合綴			

所得税法改正ニ付収入予算	(墨)		〔明治〕	冊(活)	20
○			○		
〔明治23・24年度全国府県別所得税額一覧〕	綴(墨)	5	田地收穫比較表 一号 明治17年—21年	状(活)	21
曾根・山口左七郎宛			收穫比較表 二号 明治17年—22年	状(活)	22
同封			全国田方一郡反当平均地価比較表 明治22年1月1日	状(活)	23
〔該表送付通知〕	状(鉛)		地価修正表 畑之部 明治23年	状(活)	24
○			〔地価修正調査表〕 明治23年1月	状3(活)	25
出版法・政社法			地価修正表 田之部 明治23年1月1日	状(活)	26
出版法案〔明治23年12月〕	綴(菊)	6	増反別明細表 福岡県筑前国〔明治24年〕	状2(活)	27
〔集会及政社法改正案〕〔明治23年12月〕	綴(菊)	7	地租条例ノ前ト明治6年改租ノ際石代算出比較 山口県	状2(活)	28
地価修正法			〔府県地租一覧表〕	状(活)	29
田畑地価特別修正法案〔明治〕	冊(活)	8	收穫地価石代及利子表 畑ノ部・田ノ部	状2(活)	30
特別地価修正法案〔明治24年1月1日〕	状(活)	9	山口県大分県岡山県岐阜県総丈量反別比較表	綴(墨)	31
〔地価修正につき天春氏修正案結果〕〔明治24年〕	状3(活)	10	五百万円ヲ目的トシタル地価特別修正ト地租五厘減トノ比較表	状(活)	32
田畑地価特別修正法案〔明治〕	冊(活)	11	議院法		
「賛成山口左七郎」と墨書あり			議院法改正案	冊(活)	33
減租参考一斑 明治24年10月	冊(活)	12	同添付		
衆議院議員天春文衛			〔該案送付通知〕 明治24年1月	状(活)	
地租徴収法〔案〕〔明治24年〕	状(菊)	13	弥生俱樂部幹事		
同添付			衆議院規則改正案〔明治24年〕	状(活)	34
地租徴収法説明書	綴(菊)		議院法修正案〔明治〕	綴(菊)	35
地租徴収法改正ノ理由〔明治24年〕	綴(菊)	14	衆議院選挙法中当選訴訟ノ一章削除スルトキハ左記ノ数条ヲ衆議院規則中ニ挿入スルコトヲ要ス	状(菊)	36
○			銀行法		
地租ニ関スル質問ニ答フル書類			郡区市債農工業銀行法案理由書		
明治19年4月14日	冊(活)	15	明治24年3月2日	状(活)	37
大蔵大臣松方正義			海江田信義 由利公正		
山瀬幸人君提出地押調査ノ件ニ関スル質問ニ答フル書 明治24年3月	冊(活)	16	日本銀行税法律按 明治25年12月	綴(菊)	38
大蔵大臣松方正義・衆議院議員中島信之宛			府県郡制		
地押調査上延反別ニ地価ヲ増課セサリシ件ニ関スル質問ニ答フル書 明治24年3月6日	冊(活)	17	法律第三十六号改正案	綴(菊)	39
大蔵大臣松方正義・衆議院議長中島信行宛			法律第三十五号改正案 府県制 明治24年12月	綴(菊)	40
権藤貫一君外三十名ヨリ提出ノ地租ニ関スル質問ニ答フル書 明治24年3月7日	冊(活)	18	府県制改正案 明治24年12月	綴(菊)	41
大蔵大臣松方正義・衆議院議長中島信行宛			府県・郡・市町村改正案 明治24年12月	綴(菊)	42
地押調査ニ対スル質疑ニ答フル書類〔明治〕	冊(活)	19	郡制改正案 明治24年12月	綴(菊)	43
西尾博藏君ノ質疑ニ対スル説明			売薬法		
			薬品営業及薬品取扱規則付則改正		

案〔明治24年12月〕	状(詢)	44	東京府京橋区成田忠平		
売薬規則改正案 明治24年12月	綴(詢)	45	甲 特別地価修正意見書 明治24年1月	冊(活)	60
鉄道拡張			秋田石川理紀之助他5名		
鉄道拡張方案〔明治24年12月〕	状(詢)	46	田畑地価修正ニ関スル意見書 明治24年2月	冊(活)	61
同添付			井上利右衛門 池之端惣助		
第一期工費概算	状(活)		鳥取県 ^{因幡国} _{信濃国} 田畑地価修正請願書		
徴兵令			明治24年2月	冊(活)	62
徴兵令第三条改正案〔明治24年12月〕	綴(詢)	47	門脇重雄他3277名		
徴兵令第十七条改正案 明治24年12月	状(活)	48	福岡県豊前六郡総丈量増反別ニ属スル地価ノ件ニ付陳情書 明治24年2月	状2(活)	63
民法			村田六郎他12名		
民法相統編中改正要綱(法制審議会總會決議)〔大正8年〕	綴(孔)	49	大分県豊前宇佐下毛二郡地価ノ件ニ関シ瀏覽ヲ乞フ書 明治24年2月	冊(活)	64
小作法制定ニ関スル要綱 大正15年10月 小作調査会	綴(活・ペ)	50	賀来素吉 佐藤又四郎・議員諸公宛		
請願・意見書			地租法収穫米代価修正之議請願 明治24年2月3日	冊(活)	65
衆議院選挙法			兵庫県住川恒太郎他1560名		
〔衆議院選挙法更改の請願〕 明治23年12月	綴(活)	51	地価特別修正之義ニ付請願 明治24年2月5日	状(活)	66
真宗本願寺派僧侶石上北天他34名			愛知県東春日井郡467名惣代上京委員松永左衛門他6名・衆議院議員山口左七郎宛		
選挙区拡張及議員増加意見書 明治24年2月18日	状(活)	52	早害地地価特別修正ノ義ニ付哀願書写 明治24年2月10日	状(活)	67
山梨県有志者惣代木内信春他8名			三重県阿拜郡窪崎惣三郎・中島信行宛		
出版・結社			地価修正ニ対スル会津人ノ意見 明治24年2月12日	冊(活)	68
新聞紙条例出版条例改正意見書 明治23年11月	冊(活)	53	〔地租軽減及地価修正ノ請願〕 明治24年2月	状(活)	69
東京書籍出版業者組合			愛知県熱田町小塩幹他289名・衆議院議長中島信行宛		
〔政社法議員選挙法新聞紙条例改正断行の請願〕 明治24年2月20日	状(活)	54	同添付		
伊東徳三他40名			〔請願送付通知〕 明治24年2月13日	状(活)	70
弁護士法			小塩幹他289名・山口左七郎宛		
〔弁護士法案ニ対スル意見書〕 明治23年12月	折(活)	55	特別地価修正請願書 明治24年2月13日	冊(活)	71
大阪堺組合代言人・山口左七郎宛			兵庫県出石郡広井松太郎他1611名		
弁護士法按説明書 明治23年12月	折(活)	56	地租改正評論 明治24年2月13日	冊(活)	72
東京両組合代言人有志			金子雄一		
〔弁護士法按修正意見書〕 明治23年12月	冊(活)	57			
東京両組合代言人委員・山口左七郎宛					
地価修正					
非地価修正税率低減論 毎日新聞付録寄書 明治23年2月22日	袋入・折(活)	58			
岩手県有志者・山口左七郎宛					
地租税率軽減論 明治23年12月31日	冊(活)	59			

地租軽減及非地価修正ノ意見書 明治24年2月21日 青森県中津郡駒込村木村市五郎・山口左七郎宛	冊(活)	73	年11月27日 岐阜県石谷村地主総代野々村鎮治郎	状(活)	84
地租軽減ニ対スル請願書ノ写 明治24年2月23日 恒岡直史他1682名・貴衆両院議長宛	状(活)	74	地租軽減に就て 大日本農会報告号外 明治23年12月 沢野淳	冊(活)	85
〔地価修正法継続審議請願〕 明治24年3月1日 賀来昌之他2名・衆議院議員山口左七郎宛	状(活)	75	地租軽減並ニ地価修正ニ対スル意見書 明治24年12月 熊本県菊池郡宮村樸寿	冊(活)	86
特別地価修正法案 明治24年3月2日 静岡県足立孫六	状(活)	76	特別地価修正法問答 明治24年12月10日 足立孫六	冊(活)	87
特別地価修正案ニ対スル山口県請願書写 明治24年3月5日 山口県人民惣代三井忠藏他5名同添付	冊(活)	77	〔地租軽減反対意見〕 明治24年2月19日 田口卯吉他2名同添付	状(活)	88
〔請願書送付通知〕	状(石)		〔地租軽減反対意見〕 明治24年3月4日 田口卯吉他2名	状(活)	
地価修正法意見 明治24年5月10日 静岡県岡田良一郎	冊(活)	78	地価修正ノ請願 〔明治24年〕 広島県安芸郡人民110名・衆議院議長中島信行宛 同添付	綴(活)	89
〔地価修正決議書送付通知〕 明治24年5月17日 大阪府粟谷品三他・山口左七郎宛 同添付 決議書	袋入・状(活)	79	〔請願書送付通知〕 神藤徳孝他2名・山口左七郎宛	状(活)	
地価調査ニ関スル意見書 明治24年10月27日 京都府地価取調所	冊(活)	80	地価修正請願書 徳島県勝浦郡西野嘉右衛門他34518名	冊(活)	90
請願書 明治24年11月 山梨県南巨摩郡遠藤文一郎他同志若干名・貴衆両院宛 内容：地価修正ノ事 大河治水費ヲ国家支弁ト致シ度事 中央集全ヲ地方ヘ流通致サセ度事 官線鉄道延長之事	状(活)	81	地価修正意見書 〔徳島県一市十郡人民〕	冊(活)	91
地価修正得失論 明治24年11月15日 文学博士浜田健次郎	冊(活)	82	〔地価修正関係書類断簡〕	状4(活)	92
地価特別修正の義に付請願 明治24年11月27日 愛知県宝飯郡請願人惣代・山口左七郎宛 合綴 登記法改正の請願 特別輸出港開設の義に付請願	袋入・綴(活)	83	商 法 明治23年8月 東京商工会ヨリ司法大臣へ上呈シタル商法施行延期ヲ要スル意見書 明治23年8月27日 東京商工会会頭渋沢栄一	冊(活)	93
地価特別修正請願主意書 明治24			商法施行延期ヲ要スル義ニ付請願書 明治23年12月 第一国立銀行頭取渋沢栄一他49名	冊(活)	94
			商法施行延期ニ関スル管見 明治23年12月9日 衆議院議員永井松右衛門	冊(活)	95
			商法ノ実施ヲ要スル意見 〔明治24年〕	綴(活)	96
			商法施行ノ延期ヲ要スル東京商工会ノ請願書ニ対スル弁明 〔明治23年〕	綴(活)	97
			東京商工会ノ調査ニ依ル商法修正		

意見書 法治協会雑誌号外 明治24年9月16日 奥三郎兵衛他8名・東京商工会 残務整理委員総代渋沢栄一宛 同添付 仮設問答 法治協会雑誌号外 明治24年11月刊	冊(活)	98	富山県水害陳情書 明治24年12月 石黒忠左衛門他4名	綴(活)	111
東京商工会ノ調査ニ係ル商法修正 意見書 明治24年9月16日 商工会委員奥三郎兵衛他8名・ 東京商工会残務整理委員総代渋 沢栄一	冊(活)	99	公娼廃止 公娼廃止請願書写 明治23年 京都府下有志者	冊(活)	112
菓子税 菓子税則廃止懇望意見書 明治23年11月 全国菓子商協議会	綴2(活)	100	[公娼廃止ノ決議サレナキヨウ] 懇 請書 明治24年 大阪市曾根崎廓貨座敷総代堀川 理兵衛他44名	冊(活)	113
菓子税則利害実況書 附税則改正 私案 明治24年10月 全国菓子商委員	冊(活)	101	教育制度 教育制度改良案に対する吾社の意 見教育時論号外 明治23年12月19日 開発社	冊(活)	114
菓子税則改正意見書 明治24年 11月 長野県菓子営業人	綴(活)	102	教育上の問題に関する意見 明治 24年1月13日	冊(活)	115
[菓子税則改正法按及意見書] 明治 24年11月 静岡県菓子商	状(活)	103	東京茗溪会事務所 同添付 〔送付通知〕 明治24年12月14日 東京茗溪会	状(活)	116
全国菓子商意見実状書 明治24年 11月 全国菓子委員	冊(活)	104	[教育制度改良論に関する別冊雑誌 号外送付通知] 明治24年1月16日 生駒恭人他82名・山口左七郎宛	冊(活)	117
治水 治水汎論 明治23年11月 西村捨三	冊(活)	105	[教育制度改良案に対する反対意見 書] 明治24年1月18日 三重県教育者菅沼政経他2547名 佐竹義和氏ノ教育制度改良案ニ対 スル本会ノ意見 明治24年1月 19日	状(活)	118
治水汎論駁撃之一斑 三重県小林兼太郎	冊(活)	106	上野教育会会長滝沢菊太郎・山 口左七郎宛 同添付 〔意見書送付通知〕	状(活)	119
府県所属ノ河川ヲ政府ノ直轄ト為 スノ儀請願 明治24年2月15日 山梨県西川重豊他128名・山口 〔左七郎〕宛	冊(活)	107	女子教育ニ対スル意見 東京茗溪会雜 誌第九十六号付録 明治24年1月26 日 同添付 〔意見書送付通知〕 林吾一他55名・山口左七郎宛	冊(活)	120
淀川改修施工之義ニ付願書 明治 24年4月17日 若山庄藏他165名・京都府知事 北垣国造宛	冊(活)	108	東京音楽学校ノ件ニ就キ意見書 明治24年2月 有志惣代新田義繁・衆議院議員 山口左七郎宛	状(活)	121
淀川改修請願書 明治24年11月 〔大阪京都府民〕	冊(活)	109	開書 女子高等師範学校の存廃に 付議員諸君に燕言を呈す 明治 24年12月 女学雑誌社	状(活)	122
福岡県水風害陳情書 明治24年12 月 糠屋郡外十六郡人民総代岡有昌 他7名 同添付 〔陳情書翰〕 明治24年7月水害調査表	状(活)	110	衆議院議員諸君に呈する書 教育報 知号外 明治24年12月10日 東京教育社社長日下部三之助	冊(活)	

高等師範学校ニ関スル意見 東京茗 溪会雑誌号外 明治24年12月14日	状(活)	123	蚕種検査法実施会事務所・山口 左七郎宛		
高等師範学校ニ関スル意見 東京茗 溪会雑誌号外 明治24年12月14日	状(活)	124	蚕種検査法実施ニ関スル営業者意 見書	冊(活)	139
東京茗溪会 同添付 〔同意見書送付通知〕	状(活)		岐阜県大野亀三郎他8050名		
高等師範学校ハ果シテ廃スルヲ可 ナリトスルカ 大日本教育会雑誌第112 号 明治24年12月15日	冊(活)	125	蚕種検査法実施必要ノ要領 明治 24年1月	状(活)	140
日下部三之介			蚕種検査法按実施冀望者		
高等中学存廃ニ関スル意見	綴(活)	126	生糸貿易維持方案 明治24年1月	冊(活)	141
外山正一			波多野鶴吉他52名		
酒 造 税			蚕種検査法必要意見 明治24年1 月	冊(活)	142
酒造税則ノ改正ヲ請フ理由書 明 治23年12月24日	冊(活)	127	埼玉県高麗郡水富村野沢代治郎 他46名		
愛媛県酒造営業人総代大西思明			維新以後蚕種製造取締沿革 明治 24年1月	冊(活)	143
酒造税則改正ノ義ニ付請願 明治 24年	折(活)	128	鹿児島県土族轟木長		
三重県山中鉦助他126名			蚕種検査法案ニ付意見書 明治24 年1月7日	袋入・状3(活)	144
酒造税則第二十一条改正理由書 明治24年1月	冊(活)	129	八田達也・山口左七郎宛		
酒造税則付則ニ付キ陳情 明治24 年2月21日	冊(活)	130	本法全廃論者ノ説ニ対スル意見書 明治24年1月13日	冊(活)	145
三重県今中忠他6名			轟木長		
酒造税則改正請願書 明治24年 9月3日	袋入・綴(活)	131	蚕種検査法案ニ付意見書 明治24 年1月13日	冊(活)	146
全国酒家大会委員渡辺徹他8名			各府県出京惣代人		
〔北海道酒造税率ニツキ請願〕 明治 24年11月	状(活)	132	蚕種検査法案全廃意見書 明治24 年1月21日	冊(活)	147
沢尻武治 三田己蔵			小野元兵衛他1名		
酒税増額ノ請願書 明治24年11月 26日	冊(活)	133	蚕種検査法案ニ対スル全廃意見書 明治24年2月	冊(活)	148
津田仙他2320名			山梨県有志総代加々美一郎他10 名		
北海道酒造税率一定之儀ニ付請願 書 明治24年11月28日	冊(活)	134	〔蚕種検査法案反対理由書〕 明治24 年2月	状(活)	149
東出長四郎他36名			愛知県蚕業者有志総代湯地恒雄 他3名・山口左七郎宛		
酒造税免除請願 明治24年12月19 日	状(活)	135	蚕種検査法改正意見書 明治24年 2月1日	袋入・状(活)	150
岐阜県梅田英一他100名			藤本善右衛門・山口左七郎宛		
同添付 損害取調一覧表	状2(活)		同添付		
蚕種検査法			蚕種検査法按発布の件に付全国 蚕業者世論の傾向を具陳す 明治24年3月	状(活)	
蚕種検査法全廃意見 明治23年12 月26日	冊(活)	136	日本蚕業 有志大全 岡野知荘君演説大意 明治 24年11月20日	冊(活)	151
藤本善右衛門他53名			〔蚕糸業危急ニツキ〕請願要領	状(活)	152
蚕業保護請願書 明治24年	状2(活)	137	関 税		
蚕種検査法案希望者総代各府県人 名表 〔明治24年〕	状(活)	138	〔武豊特別輸出港請願ニ付〕愛知県		

初メ外四県米麦産額并消耗米高 一覧表 明治23年	状(活)	153	北越ニ於ケル鉄道ニ関スル意見 明治24年8月26日	綴(活)	166
輸入綿花税蠲免之儀ニ付追願 明 治23年11月	冊(活)	154	工学士佐分利一嗣		
大日本綿糸紡績同業者総代大阪 紡績会社山辺丈夫代理駒井英太 郎他2名			鉄道延長ノ請願 明治24年11月	綴(活)	167
輸入洋紙税額改正之義ニ付請願書 明治24年1月	冊(活)	155	新潟市長鈴木長蔵		
河瀬秀治他8名			鉄道延長請願ノ要領 明治24年11 月	綴(活)	168
海關稅權回復の義に付請願 明治 24年2月20日	冊(活)	156	新潟県鉄道協議会委員		
海外直輸貿易商森村市太郎他11 名			民有鉄道ヲ国有鉄道トナスヘキノ 請願 明治24年12月	状(活)	169
昆布輸出税免除之請願書 明治24 年3月1日	冊(活)	157	広島市長伴資健 市会議長桐原 恒三郎		
鹿島万兵衛			鉄道国有論 明治24年12月	冊(活)	170
綿花輸入關稅蠲免請願ノ要旨 附: 大日本綿糸紡同業連合会一覧表 明治24年11月21日	冊(活)	158	白石直治 同添付		
連合会理事岡田令高他10名			日本鉄道線路図	舗	
昆布輸出税免除請願書 明治24年 12月	冊(活)	159	〔中仙道線敷設意見書送付通知〕 明 治24年12月	袋入・状(活)	171
鹿島万兵衛他6名			長野県東筑摩郡中村太八郎 西 筑摩郡武居午之助・山口左七郎 宛		
輸出税全廢ヲ冀望スルノ主意書 明治24年12月	冊(活)	160	中央鉄道中仙道即チ木曾線布設ニ 關スル越意書 明治24年12月18 日	冊(活)	172
輸出税全廢同盟会 同添付			長野県鈴木峯太郎		
主意書(続)	冊(活)		同添付	舗	
鉄道敷設			中央幹線鉄道中山線踏査平面図	舗	
霧際私言 明治24年1月1日	状(活)	161	中央鉄道伊那及足助線踏測平面 略図	舗	
北海道室蘭郡本多新			〔鉄道買上 鉄道公債兩法案ニ付〕 陳情書 明治24年12月20日	状(活)	173
東北鉄道布設ノ請願 明治24年2 月	綴(活)	162	東京消防組合總代三橋竹松他2 名		
福島県石川彌			鉄道拡張并買取ニ付請願書 明治 24年12月23日	状(活)	174
上越鉄道敷設之儀ニ付請願 明治 24年2月4日	綴(活)	163	鉄道国有同盟会		
上越鉄道布設請願人山口晋策 中村岩太郎			松田大崎間鉄道速成同盟会書類入 内容	袋	175
〔信越線拡張案否決ノ要望書〕 明治 24年2月16日	状(活)	164	大崎松田間鉄道速成同盟会会則	状(活)	
新潟県木村順三他2名			〔山口左一宛伊勢原町長越光弥七 書翰〕 大正10年6月24日	袋入・状(墨)	
山陽道岡山市ヨリ美作国津山及山 陰伯耆国倉吉ヲ經テ同米子ニ至 ル鉄道布設ノ請願			〔鉄道速成同盟会地方委員会選出 会召集通知〕 大正10年6月22 日	状(孔)	
明治24年2月28日	綴(活)	165	全国鉄道速成同盟会会則	袋入・状(活)	
鳥取県門脇重雄			〔地方委員選出依頼〕 大正10年6 月	状(活)	
同添付			全国鉄道速成同盟会		
岡山ヨリ米子ニ至ル鉄道線路図	舗		〔全国鉄道速成〕 宣言 大正10年 6月19日	状(活)	
			全国鉄道速成同盟会		

〔全国鉄道速成〕決議 大正10年 6月19日	状(活)		遠洋漁業創始之義請願〔明治24年 11月〕	冊(活)	189
全国鉄道速成同盟会創立大会概 要報告 大正10年6月19日	状(活)		千葉県士族木村茂他4名		
〔山口左一宛全国鉄道速成同盟会 中央仮委員葉書〕大正10年7 月4日	状(活)		所得税		
北海道論			〔所得税ニ関スル意見書〕明治24年 2月23日	状2(活)	190
開墾殖民及ヒ警備ノ為メ囚徒ヲ北 海道ニ移スノ請願書 明治24年 1月15日	綴(活)	176	新潟県木村順三		
岩谷松平			間接税		
北海道施政改革ノ請願書〔明治24 年2月〕	冊(活)	177	間税法案附理由書 明治24年10月	冊(活)	191
勝山孝三			大江卓		
北海道議會開設意見書 明治24年 2月	冊(活)	178	火薬取締		
今井市右衛門他213名			火薬製造ヲ人民ニ許可スルノ請願 明治24年2月26日	状(活)	192
囚徒ヲ北海道ニ移スヲ否トスル議 明治24年2月	冊(活)	179	東京府大塚良城		
常野正義他205名			徴兵		
北海道殖民政略ノ断行ヲ望ムノ請 願書 明治24年2月9日	状(活)	180	兵役免除請願書 明治24年2月	状(活)	193
勝山孝三			浄土宗慈彦孝他71名		
北海道論 明治24年6月	冊(活)	181	僧侶兵役免除請願理由書	冊(活)	194
土田政次郎			護国寺住職原心猛他41名		
室蘭郡民ノ主義 明治24年11月	綴(活)	182	兵役短縮ノ不可ヲ論ズ 兵事号外 明治24年12月15日	冊(活)	195
室蘭郡同志社			兵事新報社		
北海道義勇兵設立ヲ請願セント欲 スルノ大旨 明治24年11月	冊(活)	183	煙草税		
北海道義勇兵設立請願発起者			煙草税則改正ノ請願 明治24年2 月	綴(活)	196
北海道ヨリ帝国議會議員選出ノ請 願書 明治24年12月8日	状(活)	184	全国煙草商煙草耕作人		
勝山孝三			煙草税則改正請願写 明治24年11 月	綴(活)	197
府県制			大阪府市郡煙草商		
府県制改正の義に付請願 明治24 年12月	状2(活)	185	中央煙草業協會会報 号外 明治24 年12月12日	冊2(活)	198
名古屋市長志水忠平・貴衆両院 議長宛			中央煙草業協會 内容: 煙草業全国連合大会議事録		
府県制改正ノ請願 明治24年12月	状3(活)	186	煙草税則改正之請願書 明治24年 12月25日	綴(墨)	199
予算			秦野町石田善治郎他85名		
歳計予算案ニ対スル意見書 明治 24年2月14日	状(活)	187	小作条例		
山梨県有志者惣代木内信春他8 名			小作条例草案 明治24年11月	冊(活)	200
水産			小作条例請願委員岡山県山崎彌 平他2名		
製魚改良法普及方請願 明治24年 2月19日	冊(活)	188	売薬法		
函館区相生町石川安平			医薬分業ノ可否ヲ論ス 明治24年 12月18日	冊(活)	201
			東京医師有志		
			売薬規則改正ノ趣旨 明治24年11 月	袋入・冊(活)	202
			売薬改正期成会仮本部		
			売薬印紙税改正請願 明治24年2		

月26日 高木與兵衛他133名	冊(活)	203	〔特別会計予算調査案〕 内容 〔地価修正地租軽減案議了要求〕 緊急動議 明治24年2月21日 状(墨)	216
その他 第3回内国勸業博覧会 大和国吉野材木移出 品解説書 明治23年3月 土倉庄三郎	冊(活)	204	山口左七郎 要求修正歳出入増減比較表 状(活)	
松ヶ崎港船留ノ慣行ヲ解ク請願書 〔明治24年〕 松本得内	冊(活)	205	農商務省経費節減取調一覧 綴(墨)	
清水港を特別輸出港とするの意見 明治24年12月 望月万太郎	冊(活)	206	佐々木政行 官制改正ノ上奏〔草稿〕 綴(墨)	
帝国ノ大難ヲ排除シテ人民ヲ窮厄 ヨリ救済セントスルノ請願書 商権拡張ニ就テノ請願書 明治 24年2月9日 岩谷松平	冊(活)	207	内務省予算案 綴(墨)	
商工業資金貸下ヲ要求スル請願書 明治24年12月 岐阜市米屋町加島勘蔵 合綴	綴(活)	208	各局合及人員配当表 綴(墨)	
岐阜県下重ナル市町村震災損害 高取調査			予算追加修正案意見書 状(活)	
〔富国救貧策〕請願書 明治23年11 月29日 山形県平民佐藤伊之吉	冊(活)	209	歳出經常部総予算 綴(墨)	
衆議院議員各位ニ呈シテ海軍補助 汽船会社創立ノ必要ヲ説ク 明 治24年	綴(活)	210	歳出經常臨時会計比較 綴(墨)	
〔国民兵学校設立ニ関シ意見書〕 明治24年1月 中島謙吉	状(活)	211	特別会計予算歳出之部 綴(墨)	
〔国風一定・公民同社・租税・官・ 兵事・教育・族籍・法律ニ関ス ル〕請願書 明治24年1月8日 奈良県森本藤吉	綴(活)	212	明治24年度特別会計予算査定表 綴(活)	
製茶直輪会社ノ義ニ付上申 明治 23年3月10日 鹿児島県知事渡辺千秋他32府県 知事・農商務大臣岩村通俊宛	冊(活)	213	明治二十四年度内務省所管追加予 定経費要望書甲・乙 綴2(活)	217
和漢医師継続ノ請願及理由 明治 24年11月 府県医師	冊(活)	214	明治二十四年度歳入歳出予算追加 第一号 二十四年度地租徴収表 状(詢)	218 219
予 算			同添付 第二号 二十五年度地租徴収表 状(詢)	
明治24年度予算人員比較表〔明治 24年2月〕 予算委員室	状(活)	215	第三号 明治二十四年歳入歳出月 割額及大蔵省証券利子予算表 状(詢)	
			第四号 明治二十五年度歳入歳 出月割額及大蔵省証券利子予 算表 状(詢)	
			○ 歳入出予算累年比較表・国債準備 累年比較表 官令全報第38号 綴(活)	220
			内容: 明治8年より12年迄の歳 入出予算及び国際比較	
			貸付金始末要領〔明治23年7月〕 大蔵省 冊(活)	221
			〔予算案ニ対スル各党派ノ近状〕明 治24年1月19日 状(詢)	222
			時事新報 二十四年度剰余金処分方案 綴(詢)	223
			衆議院 議 院	
			〔議案提出心得〕明治23年12月 衆議院議長中島信行 冊(活)	224
			○ 〔憲法第54条及議院法第42条に關す る各国例規〕明治24年2月10日 綴(詢)	225
			衆議院書記官長曾禰荒助 欧州議會ノ事例ニ關スル水野書記 官報告 明治24年11月 冊(活)	226
			衆議院事務局	

欧州議會ノ事例ニ関スル水野書記 官報告 明治24年11月 衆議院事務局	冊(活)	227	長中島信行宛 本院議員二田是儀君資格審査委員 会報告 明治23年12月25日	冊(活)	244
各国議院ニ関スル報告 水野遵	冊(活)	228	審査委員長末松謙澄・衆議院議 長中島信行宛		
○			〔二田是儀の〕資格審査ニ付テノ意 見書	冊(活)	245
議院建築意見 明治24年2月24日 金子堅太郎	冊(活)	229	法学士城数馬		
〔帝國議會開院通知及び開院式次第〕 明治24年11月24日	狀3(活)	230	選挙		
衆議院書記官長曾禰荒助			衆議院議員選挙運動者届 大正13 年4月21日	綴(カ)	246
帝國議會議事堂階下全図・帝國議 會議事堂階上全図	折2(銅)	231	小沢常次郎・伊勢原警察署長福 井房次宛		
議員			神奈川県中郡第六区各町村有志並 運動者名鑑 大正13年5月10日	冊(ベ・墨)	247
召集日議員席次表〔明治23年11月 29日〕	狀(活)	232	各町村運動員名簿〔大正〕	綴(墨)	248
〔九部配分議員名簿〕〔明治23年〕	狀3(菊)	233	〔選挙運動方針手記〕〔大正〕	綴(鉛)	249
衆議院議員宿所一覽表 明治24年 11月21日	狀(活)	234	自由倶楽部		
衆議院議員席次表・議席番号〔明 治24年11月26日	狀2(活)	235	自由倶楽部規約〔明治24年〕	狀(活)	250
衆議院議員一覽表〔明治23年11月 現在 明治24年2月現在 明治 24年10月現在〕	狀2(活)	236	〔自由倶楽部議員東京在宿住所録〕 〔明治24年〕	狀(菊)	251
府県別政党所属一覽表〔明治24年〕	狀4(菊)	237	自由新聞 第104号 明治24年2月27日	狀(活)	252
訂正 中正倶楽部所属議員名簿 大 正13年7月20日	綴(孔)	238	第一期国会議場に於ける運動の始 末 明治24年4月30日	冊(活)	253
○			林有造他21名		
参考書〔茨城県選出森隆介及び赤 松新右衛門にかかわる当選訴訟 の件〕明治23年11月25日	冊(活)	239	(第二回帝國議會問題に關して) 明治二十 四年九月 自由倶楽部議員決議録 総会	冊(活)	254
森隆介			(第二回帝國議會問題に關して) 明治二十 四年九月 自由倶楽部議員決議録 総会	冊(活)	255
〔秋田県選出二田是儀当選ニ対スル 異議申立〕明治23年12月2日	冊(活)	240	〔自由倶楽部議案調査〕委員会報 告書 明治24年9月5日	綴(菊)	256
齊藤勘七 武石敬治・衆議院議 長中島信行宛			委員植木枝盛他4名		
〔茨城県第四区赤松新右衛門〕資格 異議申立書 明治23年12月5日	狀(活)	241	自由党主意書並自由党大意自由党規約	冊(活)	257
新井章吾他2名・衆議院議長中 島信行宛			地価修正運動		
本院ノ決定ヲ要スルノ意見書 明 治23年12月22日	冊(活)	242	〔地租軽減有志懇親会出席依頼〕明 治24年2月6日	狀(活)	258
資格審査委員長末松謙澄・衆議 院議長中島信行宛			減税同盟会發起人・山口左七郎 宛		
内容: 二田是儀の議員資格につ いての意見書			〔地価修正派同盟大会通知〕明治24 年4月27日	袋入・狀(菊)	259
赤松新右衛門君資格審査委員経過 報告書 明治23年12月25日	冊(活)	243	地価修正請願同盟事務所・山口 左七郎宛		
審査委員長岡山兼吉・衆議院議			〔地価修正同盟者分担金送付方法通 知〕明治24年7月2日	袋入・狀(菊)	260
			天春文衛 東尾平太郎・山口左 七郎宛		
			〔11日赤坂八百勘にて緊要の件協議〕 明治24年11月8日	狀(菊)	261

天春文衛 東尾平太郎・山口左七郎宛			〔十七日協議会開催〕 明治24年12月16日	状(蒔)	272
〔地価修正派大会16日に延期〕 明治24年11月10日	状(蒔)	262	天春文衛 東尾平太郎 脇栄太郎・山口左七郎宛		
天春文衛 東尾平太郎・山口左七郎宛			〔地租改正法案の議事日程変更に出院要請〕 〔明治24年〕 12月17日	袋入・状(蒔)	273
〔十六日江東中村楼にて地価修正派議員大会開催〕 明治24年11月14日	状(蒔)	263	天春文衛 東尾平太郎 脇栄太郎・山口左七郎宛		
天春文衛 東尾平太郎 脇栄太郎・山口左七郎宛			同添付		
〔十八日地価修正法案調査会開催〕 明治24年11月17日	状(活)	264	〔議事日定変更動議に付議場掛引協議のための出頭要請〕 12月18日	状(蒔)	
地価修正請願同盟事務所天春文衛 東尾平太郎 脇栄太郎・山口左七郎宛			〔地租条例改正法案に対する方針協議のため出向要請〕 〔明治24年〕 12月21日	袋入・状(蒔)	274
〔府県議員賛成諸氏ノ自署調印取纏メ依頼〕 明治24年11月19日	状(蒔)	265	天春文衛 東尾平太郎 脇栄太郎・山口左七郎宛		
東尾平太郎 天春文衛 脇栄太郎・山口左七郎宛			〔地価修正に付面談申込み〕 明治25年1月1日	状(活)	275
〔二十六日緊要の件協議〕 明治24年11月25日	状(蒔)	266	山口左七郎宛		
東尾平太郎 天春文衛 脇栄太郎・山口左七郎宛			その他		
〔八日協議会開催〕 明治24年12月7日	状(蒔)	267	捕鯨器械試験日記及成績 明治24年12月	冊(活)	276
東尾平太郎 天春文衛・山口左七郎宛			農務局長西村捨三・山口左七郎宛		
〔地価修正法案審議につき出院要請〕 〔明治24年〕 12月9日	袋入・状(蒔)	268	同添付		
地価修正請願同盟事務所木村誓太郎 板東勘五郎・山口左七郎宛			〔上記送付通知〕	状(活)	
〔十一日緊急事件について協議〕 明治24年12月10日	状(蒔)	269	西村捨三	冊(活)	
天春文衛 東尾平太郎 脇栄太郎・山口左七郎宛			水産拡張意見	冊(活)	
〔地価問題上程につき出院要請〕 明治24年12月10日	状(蒔)	270	大日本水産会	状(活)	
天春文衛 東尾平太郎 脇栄太郎・山口左七郎宛			〔送付通知〕		
〔地価修正法案第一読会開催通知〕 〔明治24年〕 12月14日	袋入・状(蒔)	271	村田保他4名		
天春文衛 東尾平太郎 脇栄太郎・山口左七郎宛			明治二十四年十一月発布学事法令		
同添付			説明書 明治24年12月	冊(活)	277
〔地価修正賛成者大懇親会開催通知〕 12月14日	状(蒔)		文部省普通学務局		
〔地価修正法案第二読会開催案内〕 12月20日	状(蒔)		同添付		
			〔説明書送付通知〕 明治24年12月19日	袋入・状(活)	
			学務局長久保田護・山口左七郎宛		
			酒の害 全津田仙著	折(活)	278
			東京婦人矯風会		
			妙鏡誌 第4号 明治24年3月1日	冊(活)	279
			妙宗倶楽部		
			同添付		
			妙宗倶楽部規則・妙宗倶楽部趣意書	状(活)	
			赤坂区榎坂町一番地ト芝区四町三		

田育種場ト交換及三田育種場 下ニ関スル顚末 明治19年9月 冊(活)	280	19日	
大麦種子配付成績 明治24年12月 冊(活)	281	〔書記昇等増給吏員雇入手続書式 の件〕 明治12年11月10日	
農務局長西村捨三・山口左七郎宛 同添付		一ヶ年職務勉勵拔群之者賞与方 ニ付内規 明治12年12月2日	
〔送付通知〕 西村捨三	状(活)	〔一ヶ年勉勵榮譽内規改正の件〕 明治13年2月9日	
朝野新聞銀貨問題 明治25年3月 18日 冊(活)	282	郡区吏員早出居残ノ者手当給与 条例 明治12年4月21日	
内容: 新聞切抜		〔郡区書記月給等級規則〕 明治11 年11月19日	
帝国盲人教育会趣意書 明治21年 2月 状(活)	283	郡吏罹災之節暇差許之儀伺 明 治13年12月20日	
帝国盲人教育会		〔郡区役所雇任免並書記帰省並ニ 病氣療養等による他行願手續 の件〕 明治14年1月10日	
衆議院議員氏名の解剖 〔明治〕 鈴木券太郎 若林勝郎 冊(活)	284	平常事務勉勵之者へ慰勞手当給 与方内規改正 明治14年3月 12日	
古弗氏肺癆療法ノ大発明ニ就テ 長 与専齋 演述 明治24年2月9日 冊(活)	285	〔陸軍武官恩給令罷役俸并恤給及将 官退職令〕 明治9年10月23日 冊(活)	293
大磯郡		太政大臣三条実美	
布告・布達		布達摘要 冊	294
〔地租改正条写〕 明治6年7月28日 綴(墨)	286	明治七年更正宿直心得書 (墨)	
内容		〔布達文体一定の件〕 明治10年1 月23日 (墨)	
上諭		〔布達印刷物送付經費官費負担の 件〕 明治10年2月29日 (墨)	
地租改正条令		統計表編成順序 明治10年1月 18日 (墨)	
布達摘要 職制并事務章程之部 冊	287	〔華族より平民へ移る苗字名屋号 の改称の件〕 明治5年8月24 日 (墨)	
内容		〔相撲演戲興行御達案〕 明治9年 9月 (墨)	
内務省職制并ニ事務章程 明治 7年1月10日 (墨)		〔租税延納処分の件〕 明治10年3 月2日 (活)	
内務大蔵両省ノ権限 明治7年 8月25日 (墨)		〔コレラ薬販売の件〕 明治10年9 月18日 (活)	
地租改正事務局権限 明治8年 10月14日 (墨)		〔放火事件地裁判決〕 明治10年10 月6日 (墨)	
府県職制并ニ事務章程 明治8 年11月30日 (墨)		〔郡区編成〕 明治11年11月8日 (墨)	
神奈川県事務章程 明治9年12 月8日 (墨)		〔雇採用手続の件〕 明治11年11 月19日 (墨)	
足柄県区戸長里村用掛事務章程 (墨)		〔民費の件〕 明治10年7月11日 (墨)	
大住洵綾両郡役所事務章程 明 治14年7月1日 (銅)		〔身代限処分の件〕 明治10年8月 25日 (墨)	
大住洵綾両郡役所事務章程 冊(銅)	288	旅費定則付則 明治10年5月 (墨)	
大住洵綾両郡役所事務章程 冊(銅)	289	〔生糸取締規則廃止の件〕 明治10 年6月4日 (墨)	
〔地方税規則部分写〕 明治11年 状(墨)	290	〔人民争論尋問の際の官吏立会の	
府県規則〔地方税の部〕 明治11年 7月 状(墨)	291		
続布告摘要 雑職務内規給与之部 冊(墨)	292		
内容			
愛甲郡学区取締ヨリ学資金取扱 方伺			
〔雇採用手続の件〕 明治11年11月			

件] 明治 年7月6日	(墨)		教育令御発行ニ付不了解ノ廉		
〔一村内事件処理の件] 明治9年			伺 明治12年12月9日	(墨)	
10月30日	(墨)		山口左七郎		
〔休暇願届の件] 明治10年2月19	(墨)		男 上等小学校授業法 明治12年		
日	(墨)		8月20日	冊(活)	297
〔諸鑑札処分の件] 明治10年2月	(墨)		神奈川県学務課		
21日	(墨)		布告摘要 地方税	冊	298
〔官吏帰省手続の件] 明治10年8	(墨)		内容		
月23日	(墨)		〔営業税雑種税の種類及制限につ		
〔官吏の講談演舌等の件] 明治12	(墨)		いて] 明治11年12月20日	(活)	
年5月29日	(墨)		〔営業税雑種税の種類及制限につ		
〔書記官分掌の件] 明治12年9月	(墨)		いて] 明治11年12月20日	(墨)	
布達摘要 議会の部	冊	295	〔営業税雑種税の種類制限] 明治		
内容			12年6月10日	(活)	
三新法施行順序 明治11年7月	(墨)		〔地方税賦課及徴収取扱心得] 明		
22日	(墨)		治12年6月19日	(墨)	
町村会内務省内規	(墨)		〔戸数割賦課方法ノ件] 明治12年		
町村会規則 明治12年6月13日	(活)		6月14日	(活)	
県会議事規則議案	(墨)		〔地方税施行取扱条款]	(墨)	
県会議事傍聴心得議案	(墨)		〔諸営業者調査凡例]	(活)	
〔町村会議員定数ニ付回答] 明治	(墨)		演説留	冊	299
12年7月7日	(墨)		内容		
協議費賦課法之儀伺 明治12年	(墨)		分任条件演説書 明治12年1月		
6月24日	(墨)		25日	(活)	
〔町村会規則ニ付足柄郡長伺] 明	(墨)		各課長・各郡区長宛		
治12年6月25日	(墨)		郡区長管掌条件取扱手続書 明		
〔地方税賦課法ニツキ布達] 明治	(墨)		治11年11月30日	(墨)	
12年8月18日	(墨)		〔管掌条件変更ニ付演説] 明治11		
大住洵綾両郡町村聯合会規則	(活)		年11月25日	(墨)	
明治14年2月25日	(活)		庶務課長磯貝一等属・郡区長宛		
足柄上郡各村聯合会規則	(活)		〔地理課管掌条件ニ付演説] 明治		
布告摘要 教育之部	冊	296	11年12月26日	(墨)	
内容			地理課長増田二等属・郡長宛		
神奈川県小学定則 明治11年12	(活)		〔租税課管掌条件ニ付演説] 明治		
月23日	(活)		11年11月29日	(墨)	
神奈川県中学校則同教則 明治	(活)		租税課長増田二等属・大住洵		
11年12月23日	(活)		綾両郡長宛		
神奈川県小学校定則 明治12年	(活)		〔租税徴収送付証ニ付演説] 明治		
2月18日	(活)		11年12月5日		
小学教則改正教授順序 明治12	(活)		租税課長増田二等属・大住洵		
年3月11日	(活)		綾両郡長山口左七郎宛		
上等小学試験例題	(活)		演説書 明治11年11月27日	(墨)	
男女 下等小学授業法 明治12年5	(活)		一等属妻木狷介・大住洵綾両		
月20日	(活)		郡長山口左七郎宛		
下等小学授業法附録 明治12年	(活)		内容: 地方税徴収細則 徴兵		
8月20日	(活)		免役者名簿提出について		
男女 上等小学校授業法 明治12年	(活)		演説書 明治11年11月28日	(墨)	
9月6日	(活)		支庁総括妻木狷介・大住洵綾		
小学生徒試験法 明治12年9月	(活)		両郡長山口左七郎宛		
6月	(活)		内容: 官有林取扱い 地券印		
			紙税 狩猟免許願 徴		

兵名簿提出 絶家財産 処分について			
酒類醸造石高検査及ヒ清酒搾り 器械封印開閉取扱順序 明治 12年1月16日	(墨)		
租税課・大住洵綾両郡役所宛 〔社寺境内拝借願手続について〕			
明治12年1月21日	(墨)		
地理課・大住洵綾両郡役所宛 〔地券下渡願取扱について〕 明治 12年1月29日	(墨)		
増田二等属・大住洵綾両郡長 山口左七郎宛			
〔地券書替手続きについて〕 明治 12年2月17日	(墨)		
地理課長増田二等属・大住洵 綾両郡長山口左七郎宛			
〔諸営業者の廃業と納税取扱につ いて〕			
明治12年2月26日	(墨)		
租税課・大住洵綾両郡役所宛 〔諸印紙類紙類払下売捌人手数料 について〕 明治12年3月12日	(墨)		
出納課長二等属山崎秀伴・大 住洵綾両郡長山口左七郎宛			
〔水車と水路堤塘の利害取調につ いて〕 明治12年3月8日	(墨)		
租税課長代理山口二等属・大 住洵綾両郡長山口左七郎宛			
〔芝居相撲等諸興行認可の取扱に ついて〕 明治12年2月6日	(墨)		
租税課長増田二等属・大住洵 綾両郡長山口左七郎宛			
〔改正地券交付手続きについて〕			
明治12年6月12日	(墨)		
地理課長・各郡区長宛			
道路橋梁通行止ノ事 明治12年 9月2日	(墨)		
土木課長一等属妻木狷介代理 五等属鈴木重実・各郡長宛			
〔徴兵事務条例〕 明治12年11月17日	綴(活)	300	
陸軍卿西郷従道 合綴			
〔徴兵事務条例改正追加〕 明治13 年12月6日	(活)		
陸軍卿大山巖			
布告摘要 徴兵之部	冊	301	
内容			
改正徴兵令 明治12年10月27日	(活)		
太政大臣三条実美			
〔徴兵令改正ニ付取扱方〕 明治12 年11月17日	(墨)		
陸軍卿西郷従道			
地方徴兵区員職務概則 明治12 年11月17日	(墨)		
陸軍卿西郷従道 〔改正徴兵令ノ一部改正布告〕 明 治13年10月22日	(活)		
太政大臣三条実美			
酒類営業願ヲ許可スル事〔明治〕	綴(活)	302	
神奈川県訓令四十九号〔県社以下 神社設備并ニ会計規定〕 明治40 年12月24日	状3(墨)	303	
神奈川県知事周布公平			
県議会			
〔明治12年度地方税議案説明書〕	冊(活)	304	
自第一号至第三号議案〔明治12年〕	冊(活)	305	
同添付 明治12年神奈川県議員連名 〔一覧表〕	状(活)		
神奈川県日誌明治12年銘書〔明治 12年〕	綴(活)	306	
第十三号議案戸長以下給料及戸長 職務取扱諸費内訳書〔明治13年 5月1日〕	綴2(銅)	307	
〔地方税則改正議案〕 明治13年	綴(孔)	308	
県令野村靖			
第七号議案郡区吏員給料旅費及庁 中諸費内訳書〔明治13年5月1 日〕	綴(銅)	309	
第七号議案郡区吏員給料旅費及庁 中諸費〔明治13年〕	綴(活)	310	
文書留			
大区ノ数ヲ減シテ小区ヲ廃スル略 案 大小区を廃シ更ニ区画ヲ定 ムル略案 大区ヲ廃シテ更ニ支 庁ヲ設クル略案 大小区共現今 ノ儘ニテ村駅用懸ヲ廃スル略案 大区町ハ現今ノ儘ニテ小区ヲ 廃スル略案〔明治10年〕	綴(墨)	311	
同添付 大区費額表	状(墨)		
貯金法議案〔明治10年10月31日〕	綴(活)	312	
県権令野村靖・大区正副区長宛 合綴			
大住洵綾両郡聯合會議決書 明治12 年11月			
聯合会委員戸長宮田寅治他5 名・各町村戸長宛			
備忘 内容	冊(墨)	313	

明治12年自 7 月至12月各町村協議費 自10年 7 月至11年 6 月第22大区民費額 大住洵綾両郡營業稅徵収表略書 県庁ヨリ通知〔前田正名巡回〕 県令御達〔郡区分離論見込上申〕 三浦郡各町村聯合会決議案 〔大住郡田村戸長詔布達ニ関スル件〕 〔明治12年 7 月〕	状(墨)	314	被災人施与金連名 〔大磯駅類焼につき救恤金受書〕 明治12年 9 月 5 日 聯合會議事規則 公立中学校設立案 文部省委託金保護案 旧大区區務所徵集金保存ノ方案 学区取締役場書類目録 明治13年 2 月 事務引続之儀御届 明治13年 2 月10日 旧学区取締小野懷之 山口左七郎・県令野村靖宛 地租改正ノ儀見込上申書〔県費濫用につき上申〕明治13年 7 月29日 山口郡長・県令宛 捕魚採藻稅徵収法見込上申 明治13年10月 8 日 地券事務取扱手續并諸回議區別之儀回議 地券事務取扱手續 〔小学校則施行法改正につき上申書〕明治13年10月14日 郡長山口左七郎・県令野村靖宛 〔備荒儲蓄法施行の義に付上申〕明治14年 1 月13日 郡区書記官等給ノ儀ニ付上申 明治14年 1 月18日 郡長・県少書記官河野通倫宛 〔地租修正の該当町村なき旨答申〕明治14年 1 月21日 両郡長山口左七郎・県少書記官河野通倫宛 大住洵綾両郡各校生徒試験比較表 書類目録 旧區務所ヨリ引受ノ分 明治13年 7 月 1 日 庶務係
平塚分署宇津木幸之助・小田原警察署長宛	状 2 (墨)	315	
〔町村戸長詔布達ニ関スル通達〕明治12年 8 月 1 日 平塚分署宇津木幸之助・大住洵綾両郡役所宛	冊(活)	316	大住洵綾両郡聯合會議決書 明治12年 11 月 内容 中学校設立案・共済金貯蓄法案 總合会委員戸長宮田寅治他 5 名・各町村戸長宛
大住洵綾両郡聯合會議決書 明治12年 11 月 内容 中学校設立案・共済金貯蓄法案 總合会委員戸長宮田寅治他 5 名・各町村戸長宛	冊(墨)	317	〔県令巡視報導〕〔明治13年10月 8 日〕 愛甲郡役所・大住洵綾両郡役所宛
〔県令巡視報導〕〔明治13年10月 8 日〕 愛甲郡役所・大住洵綾両郡役所宛	冊(墨)	318	草稿綴〔明治12年〕 内容 横浜医学講習所規則 宿直仮規則 議員選舉ニ付伺 明治12年 2 月 県會議員被選舉人員取調 〔得票數調〕 〔徴兵延期御届〕明治12年 2 月20 日 長尾長左衛門・徴兵署宛 足柄上郡役所各掛事務仮章程 明治十年七月ヨリ 同十一年六月マデ足柄上郡民費額ノ 内抜萃書 大住洵綾両郡小学校沿革一覽表 酒類稅收入之儀ニ付租稅課ヘ回 合廻議 明治12年 5 月13日 両郡役所・本県租稅課宛 〔酒造營業免許の件伺〕 〔町村会規則疑議につき伺〕 地所受戻勸解願 明治12年 6 月11日 伊勢原分署部内 〔富国論民權論意見〕 〔教材費調〕
草稿綴〔明治12年〕 内容 横浜医学講習所規則 宿直仮規則 議員選舉ニ付伺 明治12年 2 月 県會議員被選舉人員取調 〔得票數調〕 〔徴兵延期御届〕明治12年 2 月20 日 長尾長左衛門・徴兵署宛 足柄上郡役所各掛事務仮章程 明治十年七月ヨリ 同十一年六月マデ足柄上郡民費額ノ 内抜萃書 大住洵綾両郡小学校沿革一覽表 酒類稅收入之儀ニ付租稅課ヘ回 合廻議 明治12年 5 月13日 両郡役所・本県租稅課宛 〔酒造營業免許の件伺〕 〔町村会規則疑議につき伺〕 地所受戻勸解願 明治12年 6 月11日 伊勢原分署部内 〔富国論民權論意見〕 〔教材費調〕	綴(墨)	319	大住洵綾両郡戸籍合計表 明治14年 7 月 1 日 合綴 県會議員撰被者人員 明治14年 9 月 〔大住洵綾郡事務引継ニ関スル一件書類〕明治14年11月24日 郡長代理郡書記飯岡頼重・旧大住洵綾両郡長山口左七郎宛 上申・意見書 〔郡区制定ニ付各郡長ヲ本庁ニ召集シ協議スル事ヲ願フ書簡草稿〕
大住洵綾両郡戸籍合計表 明治14年 7 月 1 日 合綴 県會議員撰被者人員 明治14年 9 月 〔大住洵綾郡事務引継ニ関スル一件書類〕明治14年11月24日 郡長代理郡書記飯岡頼重・旧大住洵綾両郡長山口左七郎宛	綴(墨)	320	
大住洵綾両郡戸籍合計表 明治14年 7 月 1 日 合綴 県會議員撰被者人員 明治14年 9 月 〔大住洵綾郡事務引継ニ関スル一件書類〕明治14年11月24日 郡長代理郡書記飯岡頼重・旧大住洵綾両郡長山口左七郎宛	綴(墨)	321	

明治11年12月26日 県令宛	状(墨)	322	について謝告文		
〔郡区改正ニ関スル寸評 後欠〕			地上権設定契約証〔書式〕明治	綴(墨)	338
〔明治11年〕	状(墨)	323	同添付		
〔明治十一年分田方税第六期二分上 納ノ件〕明治12年7月31日	綴(墨)	324	御料地払下願〔書式〕明治	状(墨)	
田村戸長福島治兵衛・県令野村 靖宛			水採取営業願〔下書〕〔明治〕	状(墨)	
合綴			9月5日		
〔同伴に付〕始末書			小林兼吉・神奈川県知事野 健明宛		
加藤みつ他			山林取締ニ付願書〔明治〕	状2(墨)	339
〔地租改正事業ニ付意見書〕〔明治 13年〕	綴(墨)	325	人 事		
地租改正ノ儀見込上申書(下書)			職務御免願 明治10年6月	状(墨)	340
〔明治13年〕	綴(墨)	326	宮田寅治・県令野村靖宛		
捕漁採藻税徴集法見込上申〔明治 13年〕	綴(墨)	327	各官員任免及賞誉書類 明治11年 一同14年	冊(墨)	341
〔地方官会議の法案に対し鄙見第一 号一第四号草稿〕〔明治13年〕	綴(墨)	328	神奈川県立横浜裁判所及郡区吏員 録職員録 明治11年12月25日	袋入・冊(活)	342
〔貯蓄救恤に関する意見書・草稿〕	状(墨)	329	編輯兼発行人大西正雄		
〔道路工事人夫見積書・草稿〕	状(墨)	330	辞令〔出縄村蓮大寺住職兼務依願 差免〕明治12年2月20日	状(墨)	343
			神奈川県・権訓導小田日珖宛		
			〔大磯郡役所吏員名簿〕2月7日	綴(墨)	344
			飯岡頼重		
			合綴		
願 届			〔佐藤玄三郎身上書〕明治12年3 月	(墨)	
西洋時鐘起立願書并仕法 明治5 年5月	綴(墨)	331	戸長宮代謙吉		
田川元毓 間部爽逸・第六大区 御役所宛			〔郡役所出仕願〕明治12年4月	(墨)	
西洋時鐘起立願書并仕法 西洋時 鐘築造仕法大略 明治5年5月	状4(墨)	332	佐藤信政		
田川元毓 間部爽逸・第六大区 御役所宛			副学区取締及補助日勤之儀ニ付伺 明治12年7月18日	綴(墨)	345
西洋時鐘起立願書并仕法〔写〕明 治5年5月	冊(墨)	333	郡長山口左七郎・神奈川県令野 村靖宛		
田川元毓 間部爽逸			流行病予防尽力之者御賞誉之儀上 申〔明治12年11月6日〕	状(墨)	346
事情書 明治13年12月16日	綴(墨)	334	大住洵綾両郡長山口左七郎・神 奈川県令野村靖宛		
古沢平七・神奈川県勸業課宛			〔加藤鏗爾再採用についての一件〕		
内容: 原かよ, とり, せい帰村 の事情			〔明治13年5月11日〕	綴(墨)	347
御救助拝借金之儀御願 明治12年 3月7日	綴(墨)	335	二宮貞勝 飯岡頼重・山口郡長 宛		
真土村総代斉藤七左衛門他各村・ 神奈川県令野村靖宛			〔職務勲励ニ付手当下賜通知草稿〕		
〔真土村借財返却の件〕〔明治12年〕	綴(墨)	336	〔明治13年〕	状(墨)	348
横浜区海老塚四郎兵衛外4名			郡長山口左七郎・吉川繁之助宛		
謝告 明治13年6月	状(活)	337	吏員雇入之儀届〔明治14年11月17 日〕	状(墨)	349
大住郡田村福島治兵衛 四ノ宮 村新倉奎左衛門 真土村平川徳 五郎他2名			大住洵綾両郡長山口左七郎・神 奈川県令宛		
内容: 真土事件関係者減刑決定			〔庁各職員満一ケ年分出勤取調表〕		
			明治14年4月13日	綴(墨)	350
			庶務掛・各官員 雇吏員宛		

〔戸長代理願〕〔明治〕 中村董三・両郡長山口左七郎宛	状(墨)	351	大正十三年所得調査簿 所得調査委員山口	冊(孔)	373
〔衛生委員規程〕〔明治〕 篤志者御賞誉之儀上申〔草稿〕	状(墨)	352	○		
〔明治〕 〔篤志者〕亀井三左衛門	綴(墨)	353	過納租額下戻金町村処分控 明治 13年12月	冊(墨)	374
〔中郡各町村役場農会学校役員名簿〕 〔大正〕	冊(ペ)	354	金子村租税村費納之通 明治14年 4月	綴(墨)	375
町村長・町村農会長・小学校長氏 名〔大正〕	綴(カ)	355	〔娼妓金貸座敷引手茶屋営業税の件 伺〕明治14年6月13日	綴(墨)	376
地 価			両郡長・県令野村靖宛 合綴		
改正地価台帳〔明治〕 大住洵綾両郡役所	冊(墨)	356	〔娼妓金貸座敷引手茶屋営業税の件 問合せ〕明治14年5月31日		
〔田畑反別地価調〕〔明治〕	綴(墨)	357	〔同回答〕明治14年6月7日		
〔田畑宅地地価金調〕〔大正〕 鷗川磯吉・山口左右平宛	綴(ペ)	358	警察本署・両郡役宛		
租 税			〔徴税関係会議手記〕〔明治38年〕	冊(鉛)	377
明治四十五年所得歩合表〔明治45 年〕	冊(孔)	359	〔徴税関係会議手記〕〔明治〕	冊(鉛)	378
〔大磯税務署〕			〔所得調査委員名簿異動通知〕大正 9年9月7日	状(墨)	379
〔中郡各町村所得税額調控〕大正2 年—大正5年	冊(ペ)	360	大磯税務署長・山口左一宛		
大正三年所得歩合表 〔大磯税務所〕	冊(孔)	361	〔所得調査委員名簿異動通知〕大正 9年9月4日	綴(鉛)	380
第三種所得標準率表〔大正4年〕 〔大磯税務署〕	綴(孔)	362	大磯税務署長・山口左一宛		
大正五年第三種所得標準率表 〔大磯税務署〕	冊(孔)	363	〔戸数割納税務者名簿〕	綴(墨)	381
大正六年分第三種所得標準率表 大磯税務署	冊(孔)	364	河港道路修繕民費調方心得書	綴(墨)	382
大正六年度第三種所得調査簿 〔大磯税務署〕	冊(カ)	365	納税切符雛形	綴(活)	383
中郡所得納税人数及金額表 大正 6年—大正7年	綴(墨)	366	検疫費	状(墨)	384
大正七年分田畑一反歩当所得標準 率表〔大正7年〕	冊(孔)	367	○		
大磯税務署			〔第三種所得金額多額者調〕大正5 年	綴(カ)	385
〔所得金額前年比較表〕大正8年8 月	綴(カ)	368	〔大磯税務署〕		
所得調査委員山口左一			〔第三種所得金額多額者調〕大正6 年	綴(孔)	386
大正八年分第三種所得標準率表 大磯税務署	冊(孔)	369	〔大磯税務署〕		
大正九年所得収税調	冊(カ)	370	〔第三種所得額多額者調〕大正6年 〔大磯税務署〕	綴(墨)	387
大正十年所得調査簿 〔大磯税務署〕	冊(カ)	371	第三種所得金額多額者調 大正7 年	綴(孔)	388
大正十一年所得調査簿 〔所得調査委員山口〕	冊(孔)	372	大磯税務署		
			大正八年分第三種所得金額多額者 調	綴(カ)	389
			大磯税務署		
			軍 事		
			明治十年西南之役戦死者招魂碑建 立釀金名簿 明治11年1月	冊(活)	390
			磯貝静蔵他4名		
			官民 至便 徴兵用心 〔明治12年〕	冊(活)	391

〔徴兵検査ニツキ往復文書〕 内容 〔名簿照合の件〕明治13年 3 月 3 日 県庶務課長妻木狷介・山口左七郎宛 〔除役者取扱に付照会〕同年 3 月 5 日 山口左七郎・妻木狷介宛 〔照会回答〕同年 3 月 8 日 妻木狷介・山口左七郎宛	綴(墨)	392	明治17年協議費精算報告 上粕屋村村費予算案 明治17年度村費収支精算報告 明治18年ヨリ同19年迄村費予算 明治18年ヨリ19年マデ上粕屋村 費負担分 明治19年度村費収支予算議案 明治19年度村費収入予算議案		
演秘 ^{昭和二年} 特別陣地攻防演習梗概 特別陣地攻防演習統監部	冊(活)	393	〔子易村外二ヶ町村連合費予算関係 書類綴〕明治18年—明治22年	綴 2 (墨)	402
昭和二年特別陣地攻防演習貴衆両院議 員等参観日課予定表 同添付	状(活)	394	〔明治二十年度上粕屋村通常村会 案綴〕明治20年 3 月 7 日 戸長役場・山口左七郎宛 上粕屋村村費収支精算報告・子易 村外二ヶ町村連合費収支精算報 告〔明治20年〕	綴(墨)	403
〔演習参観注意書〕 臨時列車編成並東組割 演習指導梗概	綴(孔) 状(孔) 舗		〔明治二十一年度上粕屋村通常総会 議案綴〕明治21年 2 月28日 戸長役場・山口左七郎宛 内容 地方税戸数割賦課法議案 上粕屋村村費収支予算議案 村費収入予算議案 村費戸数割賦課法議案 明治十九年度上粕屋村村費精算 報告	綴(墨)	404
〔大東亜戦争戦死者弔意文〕〔昭和〕 衆議院議員山口左右平	状 5 (活)	395	〔明治二十一年度上粕屋村通常総会 議案綴〕明治21年 2 月28日 戸長役場・山口左七郎宛 内容 地方税戸数割賦課法議案 上粕屋村村費収支予算議案 村費収入予算議案 村費戸数割賦課法議案 明治十九年度上粕屋村村費精算 報告	綴(墨)	405
国民兵学校規則 国民兵学校 その他	冊(活)	396	〔高部屋村長助役選挙ニ付村会開催 通知〕明治22年 5 月 7 日 大住洵綾郡長佐藤喜左衛門 第貳号議案 ^{明治22年7月ヨリ 同23年ニ至ル} 高部屋村 歳出予算	綴(墨)	406
〔公印〕 大住洵綾両郡学区取締役場の印 35×35mm 大住洵綾両郡書記大澤精一 15×15mm 大住洵綾両郡書記伊達時 15×15 大住洵綾両郡書記葛貫万兵衛 15×15mm 大住洵綾両郡書記野原惇吉 15×15mm		397	第三号議案 ^{明治22年6月ヨリ 明治23年3月ニ至ル} 高部屋 村歳入予算	綴(墨)	407
各町村有志人名	横冊(墨)	398	明治廿二年度前半部地方税戸数割 賦課法議案 明治22年 6 月18日	状(墨)	408
石代表〔大正〕	状(墨)	399	第壹号議案高部屋村会議細則	綴(墨)	409
高部屋村(含聯合村)			〔村会議案綴〕明治22年 7 月 7 日	綴(墨)	410
村会開会・議案・決議			内容 高部屋村常設委員設置法 高部屋村収入金不納処分法 区長設置法議案 小学高部屋学校新設決議案		411
子易村外二ヶ町村連合会決議案回 章 明治17年 9 月30日	状(墨)	400	明治廿二年度村費戸別割賦課法 明治22年 7 月 7 日	状(墨)	412
子易村外二ヶ町村戸長役場・上 粕屋村山口左七郎宛 同添付 十七年分第一期連合協議会予算 額	状(墨)		明治二十二年歳入総計 明治二十 二年歳出総計 明治22年 7 月25 日	状 2 (墨)	413
上粕屋村村会決議按并ニ精算報告 書類 内容	綴(墨)	401	高部屋村条例第一号 収入金督促 手数料徴収法 明治22年 9 月	状(石)	414

高部屋村長山口書輔			明治25年度地方税賦課法		
高部屋村廿二年度臨時費徴集予算			大住郡高部屋村明治廿五年度歳入出總計予算	(墨)	
明治22年9月24日	状(墨)	415	明治二十五年度追加予算	状(墨)	428
明治二十二年地方税戸数割賦課法議案〔明治22年〕	綴(墨)	416	明治二十五年度追加予算案	状(墨)	429
上粕屋村			告知書〔明治二十六年度予算ノ件外数件村会開催ノ通知〕明治26年3月18日	綴(墨)	430
神奈川県大住郡高部屋村明治二十三年度歳入出總計予算 明治23年4月13日	綴(墨)	417	高部屋村議長堀江喜三郎・高部屋村議員山口左七郎宛		
神奈川県大住郡高部屋村明治二十二年度歳入出精算表・神奈川県大住郡高部屋村明治二十二年度歳入出總計精算 明治23年6月20日	綴(墨)	418	告知書〔村会開会通知〕明治26年6月	綴(墨)	431
大住郡高部屋村明治二十四年度歳入出總計予算	綴(墨)	419	高部屋村村長堀江喜三郎・山口左七郎宛		
合綴			合綴		
高部屋村明治二十四年度歳入出予算表	(墨)		告知書〔村会開会通知〕明治26年3月18日		
明治二十四年度方税戸数戸数割賦課法	(墨)		高部屋村議長堀江喜三郎・山口左七郎宛		
明治二十四年度歳入戸別割賦課法 明治24年4月8日	(墨)		明治二十六年度予算案付録		
神奈川県大住郡高部屋村明治二十三年度歳入出總計精算	綴(墨)	420	高部屋村役場事務報告書		
合綴			〔村会議案〕明治26年10月25日	綴(墨)	432
神奈川県大住郡高部屋村明治二十三年度歳入出精算表 明治24年7月18日	(墨)		高部屋村議長堀江喜三郎		
〔高部屋村明治二十四年度歳入出總計精算〕明治25年	綴(墨)	421	内容		
明治二十四年度歳入戸別割賦課法	状(活)	422	第壹号議案〔標杭地ヲ陸軍省ヘ永遠無料貸上ノ事〕明治26年10月12日		
告知書〔高部屋村々会開催ニ付通達〕明治25年5月17日	綴(墨)	423	第二号議案〔高等小学校廃止ノ事〕		
高部屋村長堀江喜三郎・山口左七郎宛			第三号議案〔学務委員ノ事〕		
合綴			〔明治廿六年度予算認定額〕明治26年10月13日		
神奈川県大住郡高部屋村明治廿四年度歳入出總計精算	(墨)		口述助役分掌		
高部屋村各大字共有財歳入出取調書 明治25年5月19日	状(墨)	424	高部屋村不用品払下手續ノ件		
高部屋村長堀江喜三郎			明治26年10月13日		
告知書〔高部屋村村会開会通知〕明治25年7月	綴(墨)	425	高部屋村長堀江喜三郎		
議長堀江喜三郎・山口左七郎宛			第四号議案〔衛生委員麻生春五郎辭職届ヲ認ム事〕明治26年10月14日		
神奈川県大住郡高部屋村明治廿五年度歳入出總計精算	綴(墨)	426	〔高部屋村村会通知〕明治27年3月14日	綴(墨)	433
山口左七郎宛			村役場・議員山口左七郎宛		
明治二十五年度歳入戸別割賦課法	綴(墨)	427	合綴		
合綴			神奈川県大住郡高部屋村明治二十七年歳入歳出予算表		
			明治二十七年地方税戸数割賦課等級表		
			明治二十七年高部屋村税戸別割賦課等級表		
			〔臨時村会議案〕明治27年3月31日	状(墨)	434
			神奈川県大住郡高部屋村二十七年		

度歳入出予算表〔明治27年6月21日〕 山口左七郎宛	綴(菊)	435	〔村会開催〕告知書 明治29年2月26日 高部屋村長小沢兵太郎・山口左七郎宛 大住郡高部屋村明治廿九年度歳入出予算表		
神奈川県大住郡高部屋村明治廿六年度歳入出精算表〔明治27年6月22日〕	綴(菊)	436	〔村会開催〕告知書 明治29年5月19日 村長小沢兵太郎・山口左七郎宛 合綴 神奈川県中郡高部屋村明治28年度歳入出総計精算表 明治二十九年地方税戸数割高部屋村賦課案 中郡高部屋村二十九年度歳入出予算変更表 明治二十九年地方税戸数割賦課等級表 中郡高部屋村二十八年度歳入出精算表	綴(墨)	446
神奈川県大住郡高部屋村明治廿七年度歳入出精算表	綴(墨)	437	〔村会開催〕告知書 明治29年6月25日 高部屋村長小沢兵太郎・山口左七郎宛 合綴 〔特別税新設ノ件許可写シ〕明治29年5月7日 内務大臣板垣退助・大蔵大臣渡辺国武宛 特別新設稟請書 明治29年4月16日 小沢兵太郎・内務大臣板垣退助 大蔵大臣渡辺国武宛 神奈川県中郡高部屋村会議決書 神奈川県大住郡高部屋村明治二十九年度經常費歳出表 神奈川県大住郡高部屋村土地収益比較表 神奈川県大住郡高部屋村明治二十九年度歳入一覧表 神奈川県大住郡高部屋村特別新設理由書	綴(墨)	447
〔高部屋村臨時村会開催ノ通知〕明治28年1月16日	状(墨)	438	〔村会開催〕告知書 明治29年9月11日 高部屋村長小澤兵太郎・山口左七郎宛 議案 合綴 明治廿九年度高部屋村税戸数割賦課等級表 〔村会開催〕告知書 明治30年2月	状(墨)	448
明治二十七年度経費予算中交正認定議案 明治28年1月19日 梶寅之助	状(墨)	439			
〔高部屋村村会開催ノ通知〕 高部屋村役場・山口左七郎宛 合綴 〔大住郡高部屋村廿八年度歳入出予算表〕明治28年3月27日 〔明治廿八年度地方税割賦課等級表〕	綴(墨)	440			
〔村長及助役共辞職ニ関スル件〕明治28年4月6日 神奈川県大住郡高部屋村役場 高部屋村村会議員嶋川九兵衛他7名・山口左七郎宛 同添付 〔村長及助役辞職ノ件ニ付山口左七郎宛出頭通知〕4月7日	袋入・状2(墨)	441			
告知書 明治28年4月13日 高部屋村村長代理原政吉・山口左七郎宛 内容: 村長梶寅之助辞職 村長後任者選挙議員辞職について 同添付 〔山口左七郎村長当選通知書〕明治28年4月15日 村長代理助役原政吉・山口左七郎宛	状(墨)	442			
告知書〔村会開催通知〕明治28年8月6日 高部屋村役場・村会議員山口左七郎宛	状(墨)	443			
村会議事案 明治28年8月6日 高部屋村長小沢兵太郎・山口左七郎宛 合綴 大住郡高部屋村明治廿八年度追加歳入出予算変更表	綴(墨)	444			
〔村税取調書〕 合綴	綴(墨)	445			

25日 高部屋村長小沢兵太郎・山口左七郎宛 〔村会開催〕告知書 明治30年3月27日 高部屋村長小沢兵太郎・山口左七郎宛 合綴 地方税戸数割賦課実額取調書 中郡高部屋村明治三十年度歳入出予算表 〔高部屋村村会開催ニ付通告〕明治30年6月25日 高部屋村役場・山口左七郎宛 合綴 中郡高部屋村明治二十九年度歳入出予算変更表 高部屋村役場・山口左七郎宛 〔明治二十九年度歳入出精算認定及予算変更ノ件〕明治30年6月28日 高部屋村役場・議員山口左七郎宛 中郡高部屋村明治三十年度歳入出追加総計予算 通告書〔高部屋村村会開催ニ付通告〕明治31年3月25日 高部屋村長小沢兵太郎・村会議員山口左七郎宛 合綴 中郡高部屋村明治三十一年度歳入出予算表 明治三十一年度地方税戸数割賦課等級案 明治31年3月28日 村長小沢兵太郎 〔高部屋村々会開催ニ付通告〕明治31年3月27日 村長小沢兵太郎・議員山口左七郎宛 二郡町村会組合解散ノ件議案 明治31年3月28日 山口左七郎宛 中郡高部屋村大字日向明治三十年度歳入出追加 明治31年4月11日 高部屋村会議長小沢兵太郎 合綴 中郡高部屋村大字日向明治三十一年度歳入出予算表 中郡高部屋大字日向明治三十年度歳入出精算	綴(墨)	450	中郡高部屋村明治三十年度歳入出精算表 明治31年6月24日 合綴 神奈川県中郡高部屋村明治三十一年度歳入出精算表 中郡高部屋村明治三十一年度歳入出追加総年予算 明治31年6月 村長代理山田万兵衛 中郡高部屋村明治三十一年度歳入出追加予算表 通告書〔村会開催ニ付通告〕明治31年9月26日 高部屋村長鵜川九兵衛・村会議員山口左七郎宛 合綴 中郡高部屋村明治三十一年度歳入出予算科目変更議案 中郡高部屋村明治三十一年度歳入出追加予算表 〔村会開催通知〕明治31年10月12日 高部屋村長鵜川九兵衛・村会議員山口左七郎宛 合綴 明治三十一年度村税徴収期限変更議案 中郡高部屋村明治三十一年度歳入出追加予算表 高部屋村明治三十二年度歳入出総計予算表 明治32年3月9日 高部屋村長鵜川九兵衛・村会議員山口左七郎宛 同添付 中郡高部屋村明治卅二年度歳入出予算表 中郡高部屋村明治卅一年度歳入出追加予算表 〔村会開催通知〕明治32年3月9日 高部屋村村長鵜川九兵衛・山口左七郎宛 〔地方税村税概算メモ〕 〔化学肥料の宣伝広告〕 〔高部屋村村会開催通告〕明治32年7月3日 高部屋村長鵜川九兵衛・村会議員山口左七郎宛 合綴 中郡高部屋村明治三十二年度歳入出追加総計予算 中郡高部屋村大字日向明治三十	綴(墨)	457
	綴(墨)	451		綴(墨)	458
	綴(墨)	452		綴(墨)	459
	状(墨)	453		綴(墨)	460
	綴(墨)	454		状(墨)	461
	綴(墨)	455		袋入・綴(墨)	462
	綴(墨)	456		状(墨)	
				状(墨)	
				状(墨)	
				状2(鉛)	
				状(活)	
				綴(孔)	462

一年度歳入出総計精算表				月15日		
〔村会開会通告〕明治33年3月13日	綴(孔)	463		高部屋村村長鵜川九兵衛		
高部屋村長鵜川九兵衛・村会議員山口左七郎宛				〔村会開会通知〕明治36年3月25日	綴(孔)	474
合綴				高部屋村長森屋佐吉・山口左七郎宛		
明治三十三年度県税戸数割賦課等級案				合綴		
高部屋村明治卅三年度歳入出総計予算表				明治三十六年度県税戸数割賦課等級表		
中郡高部屋村明治三十三年度歳入出予算表				中郡高部屋村明治三十六年度歳入出総計予算決議表 明治36年3月		
中郡高部屋村大字日向明治三十三年度歳入出予算表				中郡高部屋村明治参拾五年度歳入出精算書 明治36年6月	綴(孔)	475
〔村会議案中地価割訂正ノ件〕明治33年3月14日	状(孔)	464		高部屋村長森屋佐吉		
村長鵜川九兵衛・山口左七郎宛				〔村会開会通知 別紙なし〕明治36年7月3日	状(孔)	476
〔村会開会通知〕明治33年6月14日	状(孔)	465		高部屋村長森屋佐吉・山口左七郎宛		
高部屋村長鵜川九兵衛・山口左七郎宛				通告書〔村会開催〕明治36年10月5日	綴(孔)	477
中郡高部屋村明治三十二年度歳入出精算 明治33年6月14日	綴(孔)	466		高部屋村長原政吉・山口左七郎宛		
〔中郡高部屋村大字日向明治三十三年度歳入出追加予算表〕明治33年6月14日	状(孔)	467		合綴		
鵜川九兵衛				県税戸数割賦課法変更議案		
中郡高部屋村明治三十三年度歳入出追加予算表	綴(孔)	468		〔村会開催通知〕明治38年3月25日	綴(孔)	478
鵜川九兵衛				村長原政吉・山口左七郎宛		
〔村会開会通知〕明治34年3月19日	綴(孔)	469		合綴		
高部屋村長代理助役古谷兵蔵・山口左七郎宛				明治三十八年度県税戸数割賦課等級表		
合綴				神奈川県中郡高部屋村明治三十八年度歳入出総計予算表		
明治参拾四年度県税戸数割賦課等級案				高部屋村大字日向明治三十八年度歳入出総計予算表		
高部屋村明治卅四年度歳入出総計予算表				〔村会開催通知〕明治38年7月20日	綴(孔)	479
中郡高部屋村明治参拾参年歳入出精算書 明治34年6月	綴(孔)	470		高部屋村長原政吉・山口左七郎宛		
高部屋村長鵜川九兵衛				合綴		
中郡高部屋村明治参拾四年度歳入出精算書 明治35年6月23日	状(孔)	471		神奈川県中郡高部屋村明治参拾七年度歳入出精算書 明治38年 高部屋村長原政吉		
中郡高部屋村明治三十四年度歳入出精算表	綴(孔)	472		中郡高部屋村明治卅八年度歳入出追加予算表 明治38年 村長原政吉		
明治三十五年度県税戸数割賦課等級案 明治35年3月20日	綴(孔)	473		同添付		
合綴				明治三十八年度事務報告 明治39年3月	綴(孔)	
中郡高部屋村明治三十五年度歳入出総計予算表 明治35年3月				村長原政吉		
				〔村会開催通知〕明治39年3月19日	綴(石)	480
				村長原政吉・山口左七郎宛		
				合綴		
				明治三十九年度県税戸数割賦課		

等級表	(孔)		日	綴(孔)	490
神奈川県中郡高部屋村明治卅九年度歳入出総計予算表	(孔)		村長守屋閻三郎		
高部屋村大字日向明治卅九年度歳入出総計予算表	(孔)		議案第二号高部屋村歳入出予算		
〔村会開催通知〕明治40年5月1日	状(石)	481	昭和3年2月29日	綴(孔)	491
村長原政吉・山口左七郎宛			村長守屋閻三郎		
〔村会開催通知〕明治40年7月17日	綴(孔)	482	昭和三年度中郡高部屋村戸数割賦課方法	綴(孔)	492
村長原政吉・山口左七郎宛			昭和3年7月18日		
合綴			高部屋村長守屋閻三郎		
神奈川県中郡高部屋村明治三十九年度歳入出精算書			議案〔大正十五年度中郡高部屋村歳入出決算〕昭和3年8月11日	綴(孔)	493
中郡高部屋村大字日向明治三十九年度歳入出精算			高部屋村長守屋閻三郎		
明治四十三年度県税戸数割賦課等級表	綴(孔)	483	議案〔中郡高部屋村歳入出予算〕昭和4年2月26日	綴(孔)	494
高部屋村長山口左一			村長守屋閻三郎		
合綴			昭和四年度中郡高部屋村上粕屋歳入出予算		
神奈川県中郡高部屋村明治四十三年度歳入出総計予算表	明		昭和三年事務報告		
治43年3月			昭和4年2月26日	綴(墨)	495
神奈川県中郡高部屋村明治四十三年度歳入出精算書	明治43年6月		高部屋村長守屋閻三郎		
高部屋村長山口左一	綴(孔)	484	議案第十七号〔昭和七年度高部屋村特別税戸数割賦課方法〕昭和7年7月18日	綴(孔)	496
明治四十四年度県税戸数割賦課等級表	綴(銅)	485	高部屋村長小沢光男		
合綴			議案第一号村民税賦課ニ関スル件		
神奈川県中郡高部屋村明治四十四年度歳入出総計予算表	明治44年3月		昭和16年2月7日	綴(孔)	497
高部屋村長森屋佐吉			高部屋村長原幸造		
村会議案	大正15年7月19日	綴(孔)	合綴		
高部屋村長守屋閻三郎		486	昭和十五年度村民税賦課額表		
合綴			議案第二号〔基本財産蓄財停止の件〕昭和16年2月28日	綴(孔)	498
大正十五年度中郡高部屋村歳入出追加予算			中郡高部屋村長原幸造		
大正十四年度前半年度県税戸数割高部屋村賦課方法	大正14年7月	綴(孔)	合綴		
高部屋村長守屋閻三郎		487	議案第三号基本財産運用金積戻停止ノ件		
議案	昭和2年6月27日	綴(孔)	議案第四号〔国税附加税賦課率条例設定ノ件〕		
高部屋村長守屋閻三郎		488	議案第五号〔昭和十六年度中郡高部屋村歳入出予算〕		
合綴			議案第六号〔昭和十六年度高部屋村国民健康保険組合歳入出予算〕		
高部屋村特別税戸数割条例			昭和16年2月28日	綴(孔)	499
議案	昭和2年6月27日	綴(孔)	高部屋村国民健康保険組合理事		
高部屋村長守屋閻三郎		489	長原幸造		
合綴			例 規		
県税家屋村税賦課方法			高部屋村条例第二号常設委員組織及職務権限	昭和23年7月19日	状(墨)
議案	昭和二年度中郡高部屋村戸数割賦課方法	昭和2年7月20	中郡高部屋村条規全集	附村誌	
			大正3年12月1日	冊(活)	501
			高部屋村役場		
			中郡高部屋村例規全集	附村誌	

大正3年12月1日 高部屋村役場	冊(活)	502	〔地方税関係書類〕	状3(墨)	523
東京府会議事規則〔写〕〔明治〕	冊(墨)	503	〔上粕屋日向西富岡村賦額表〕〔大正14年〕	綴(孔)	524
事務報告			訴 願		
明治廿九年事務報告	綴(菊)	504	山田新兵衛身代限ノ末加判人弁償之義ニ付小田原区裁判所ヨリ横浜裁判所及東京裁判所及東京上等裁判所迄原被口供其他訴答書類裁判状諸書 明治12年2月	綴(墨)	525
高部屋村明治32年度事務報告 明治33年3月9日 高部屋村長鷗川九兵衛	冊(菊)	505	墓地新設之義願書 明治8年12月上粕屋村禅曹洞宗洞昌院及檀家頭人・足柄県令柏木忠俊宛	綴(墨)	526
明治参拾参年事務報告 高部屋村役場	綴(菊)	506	教 育		
村有財産			伊勢原村外拾壹ヶ村伊勢原学校連合議会決議案 明治18年度	綴(墨)	527
明治二十三年度上粕屋共有金収支明細表 明治24年7月18日	状(墨)	507	議案第九号学校資本金処分法 議案第十条元子易村外二ヶ町村戸長役場ヨリ引継金処分法〔明治22年7月7日〕	状(墨)	528
財産明細表 明治26年3月24日〔高部屋村〕	状(墨)	508	〔教育費支弁ニツイテ〕請願書 明治28年7月24日	冊(墨)	529
〔上粕屋共有地原野植付其他ノ件協議開催ノ件〕明治33年3月24日 鷗川九兵衛・山口左七郎宛	状(墨)	509	組下惣代古宮幸吉他75名・高部屋村長宛		
土 地			〔教育費支弁ニツイテ〕請願書〔草稿〕〔明治28年〕	状(墨)	530
〔田畑宅地異動調〕〔明治13年改〕	綴(墨)	510	〔伊勢原外六ヶ村組合高等学校関係書類〕		531
土地修正経費第三回決算調 明治20年9月8日	綴(墨)	511	内容		
明治四十一年現在高部屋村民土地所有一覧表	状(墨)	512	組合高等小学校経費負担	状(孔)	
地位段別取調簿 乾・坤〔明治34年〕	冊2(墨)	513	組合高等学校組合上ノ経費増減表	状3(孔)	
上粕屋村			〔校舎図〕	舗(墨)	
高部屋村会記事 大正5年一昭和5年	冊(鉛・ペ)	514	〔歳入歳出表〕	綴(墨)	
同添付			〔経費負担表〕	状(墨)	
他町村住民ガ高部屋村内ニ土地所有増減表 大正元・十年	綴(カ)		〔経費増減表〕	状(墨)	
大正十一年度比較	状(ペ)		小学高等科連合上ニ関シ取調		
宅地等級表〔大正〕	綴(墨)	515	明治33年10月		
田畑其外反別取調野帳四 第二八号	冊(墨)	516	高部屋村	状2(墨)	
〔田畑其外反別取調野帳 第三十一号〕	冊(墨)	517	伊勢原役場	状(墨)	
〔田畑其外反別取調野帳 第五十四号〕	冊(墨)	518	大山町役場	状(墨)	
〔田畑宅地関係書類〕	状5(墨)	519	成瀬村役場	状2(墨)	
〔改正反別取調書上〕	冊(墨)	520	岡崎村役場	状(墨)	
租 税			大田村	状(墨)	
廿三年度高部屋村所得納税額	綴(墨)	521	此々多村	状(カ)	
納税奨励規程 昭和8年4月	状(活)	522	〔建築費経常費内訳表〕	状(墨)	
高部屋村			伊勢原町外六ヶ町村組合高等学校組合上ノ経費増減表・高等科生徒組合上児童数割合負担表組合小学高等学校経費負担〔事務委任について〕	状(墨)	

〔学校経費経常費内訳〕		状(墨)		〔高部屋信用購買販売利用組合関係書類〕		状14(孔)	539
〔照会文〕 明治42年10月9日		状2(墨)	532	内容			
森屋佐吉・山口村長宛				出資増口申込書			
内容				委員会決議事項			
小学校オルガン破損につき購入希望の件				委員会決議事項			
近衛師団機動演習指令の件				〔農村経済非常時宣言〕 昭和9年10月24日			
補習学校の設置位置の件				本村経済更生上組合運動ヲ進展セシム可キ良策如何			
組合団体				第二協議問題			
大正二年分持分並ニ配当金額人別表 大正3年1月		冊(活)	533	第三回組合員大会ノ件 昭和9年10月22日			
有限責任高部屋信用購買販売組合				販売購買事業ノ積極的進展ヲ図ル方策如何			
昭和五年度報告書 昭和6年4月21日		冊(孔)	534	本村経済更生上組合運動ヲ進展セシム可キ良策如何			
有限責任高部屋信用購買販売利用組合組合長原政吉				〔農村経済非常時宣言〕 昭和9年10月24日			
昭和九年度 ^{五ヶ年計画} _{第二年度} 事業計画		状(活)	535	組合現況			
保証責任高部屋信用購買販売利用組合同添付				昭和七年度報告書			
昭和十一年度(五ヶ年計画第四年度)事業計画		状(活)		雑貨予約注文書〔未記入〕			
業務案内				組合絶対利用センガ為ノ良策如何			
保証責任高部屋信用購買販売利用組合		折(活)		昭和拾年度報告書 昭和11年4月25日		冊(活)	540
全購聯案内 昭和8年9月		折(活)		高部屋信用購買販売利用組合			
ここに無駄あり! 農家の肥料使へ!! 全購聯		折(活)		昭和十年度通常総会議案 昭和11年4月29日		状(活)	541
㊤完全飼料の話 昭和9年3月		冊(活)		保証責任高部屋信用購買販売利用組合組合長理事小沢光男			
全国購買組合聯合会				定款		冊(活)	542
保証責任高部屋信用購買販売利用組合役				高部屋信用購買販売利用組合			
職員退職給与規定 昭和9年4月1日		状(活)	536	定款 附総会議事細則		冊(活)	543
同添付				高部屋信用購買販売利用組合			
保証責任高部屋信用購買販売利用組合職員服務規定 昭和9年4月1日		状(活)		○			
保証書		状(活)		株券 大正5年1月30日		袋入	544
保証責任高部屋信用購買販売利用組合職員身元保証規定 昭和9年4月1日		状(活)		高部屋勸農社長山口左一・堀江謙吉宛			
昭和八年度報告書 昭和9年4月2日		袋入・冊(活)	537	同封			
高部屋信用購買販売利用組合				高部屋村勸農社第五回報告書			
昭和八年度通常総会議案 昭和9年4月12日		状(活)	538	大正5年1月		状(活)	
保証責任高部屋信用購買販売利用組合組合長理事小沢光男				〔株券譲渡の件〕 9月24日		状(カ)	
				鶴川磯吉・山口宛			
				借用金証書 大正15年9月1日		綴(墨)	
				田中正作・鶴川磯吉宛			
				株券 大正5年1月30日		袋	545
				高部屋村勸農社長山口左一・田中正作宛			
				同封			
				高部屋村勸農社第五回報告書			

高部屋村勸農社第六回報告書 大正5年1月	状(活)		明治44年1月11日 青年会長三浦英蔵・山口左一 宛	状(孔)	
高部屋村勸農社 ^{第一回ヨリ} _{第六回マデ} 惣報告 大正5年1月30日	状(活)		通知〔評議員当選〕明治44年1 月11日	状(孔)	
株券 大正5年1月30日 高部屋村勸農社長山口左一・堀 江鎌吉宛 同封	袋入(活)	546	青年会長三浦英蔵・山口左一 宛 高部屋村青年会一覧表 ○	状(孔)	
高部屋村勸農社 ^{第一回ヨリ} _{第六回マデ} 惣報告 大正5年1月30日	状(活)		隣保互助納税組合規約	状(孔)	554
大正十三年十二月三十一日現在調 鷺川磯吉分調書入 同封	袋	547	その他 家作借請証文〔下書〕〔明治10年 11月〕	状(墨)	555
精算書 大正8年5月19日 勸農社理事鷺川磯吉・社長山 口左一宛	綴(カ)		〔道路橋梁工事ニ関スル〕議定書 〔明治12年〕	綴(墨)	556
勸農社借入償還未済額調書 大 正13年12月31日 鷺川磯吉・山口左一宛	状(カ)		高部屋村上粕屋一級公民 高部 屋村上粕屋二級公民 合綴	綴(墨)	557
借入金証 大正9年1月1日 鷺川磯吉・勸農社社長山口左 一宛	状(墨)		〔村会議員選挙公告〕明治22年4 月13日 戸長二見松太郎 〔公告触示依頼〕明治22年4月13 日 戸長二見松太郎・総代人 山口左七郎 山口書輔宛		
計算書 大正15年9月4日 鷺川磯吉・山口左一宛	状(カ)		〔高部屋村会手記〕明治22年7月7 日	状(鉛)	558
高部屋村勸農社決算報告書 大正 15年10月1日 同封	袋入・状(活)	548	恤兵金支出報告 明治28年7月20 日 高部屋恤兵会幹事 合綴	綴(墨)	559
株券喪失無効誓約書 大正15年 〔勸農社解散に付集会通知〕大正 15年9月 山口左一	状(孔)		兵士葬儀費支出報告 明治28年 8月9日 高部屋恤兵会幹事小沢兵太郎	(墨)	
高部屋村勸農社決算報告書 大 正15年10月1日 〔持株者一覧〕	状(ベ)		神奈川県中郡高部屋村勢要覧 大 正2年3月	冊(活)	560
高部屋村勸農社決算報告書 大正 15年10月1日 高部屋村勸農社 ○	状(活)	549	〔揚武修道会春期伊勢原地方大会祝 詞草稿〕昭和18年3月20日	状(鉛)	561
乳牛品評会高部屋村畜牛改良組合 収支決算書 昭和9年4月12日 組合長田中安太郎 ○	冊(孔)	550	〔酒造税則違反に関し事実調査及び 意見〕〔明治〕	状(墨)	562
高部屋村農会実行規約〔草稿〕	状(墨)	551	高部屋村略図 合綴	綴(孔)	563
高部屋村青年会規約書類	袋入・冊(孔)	552	宅地等級価額一覧表 現住人口数表	(ベ)	
通牒青年会評議員会開会ノ件 明 治44年1月18日 高部屋村青年会長三浦英蔵・山 口左一宛 同添付 通知青年会役員当選ニ関スル件	状(孔)	553	明治四十三年四十四年度戸数割 等級比較表 〔丹沢山官林周辺ノ里程・境界之村 名調〕〔明治〕 吉田神奈川県技手調査春嶽山造林設計 参考書 〔高部屋村関係断簡一括〕	(ベ)	
				綴(墨)	564
				冊(活)	565
					566

各種会社			年6月30日	状(ペ)	578
金融			株式会社伊勢原銀行		
株式会社相模銀行定款〔明治25年7月1日〕	冊(活)	567	預金証書 昭和4年1月15日 山口左一・山田鎌太郎宛	袋入・状(墨)	579
株式会社相模銀行定款〔明治25年7月〕	冊(活)	568	日計表・他店貸借仕訳表 昭和4年6月29日 昭和4年12月31日	状2(ペ)	580
株式会社相模銀行			株式会社伊勢原銀行		
株式会社相模銀行定款 明治30年7月	冊(活)	569	〔伊勢原銀行持株明細書〕昭和4年6月30日	綴(ペ)	581
株式会社相模銀行			伊勢原銀行		
第七拾五期業務報告書 昭和5年6月30日	冊(活)	570	伊勢原銀行借入金之証(永久保存) 袋		582
株式会社相模銀行			内容		
○			借入金証書 昭和5年7月1日	状2(活)	
〔伊勢原銀行関係書類〕	状4(墨)	571	山口左一 山口左右平・伊勢原銀行宛		
内容			借入金之証控 昭和5年11月12日	状(墨)	
〔借入金弁済事情〕明治34年4月23日			山口左一・伊勢原銀行宛		
伊勢原銀行石井覚太郎・山口左七郎宛			昭和五年十一月七月調処分価格	状2(ペ)	
〔伊勢原銀行諸計算内訳表〕			〔重役会開催の件〕昭和5年7月2日	状(カ)	583
株式会社伊勢原銀行定款	冊(活)	572	伊勢原銀行頭取山口左一		
同添付			私財提供之証並株主委員長ヨリノ		
株式会社伊勢原銀行定款〔修正定款〕〔大正10年10月19日〕	状(活)		反証	袋	584
〔伊勢原銀行関係書類〕		573	内容		
内容			〔伊勢原銀行整理方法案〕昭和5年9月7日	状(カ)	
損益勘定前期比較表 大正12年6月	状(孔)		山口左一・株主代表委員長黄金井為造		
調査係			〔欠損額補填方法通知〕昭和5年9月12日		
資産負債勘定前期比較表 大正12年6月	状(孔)		株主代表委員長黄金井為造・山口左一宛		
調査係			總會ニ於ル重役提供財産 昭和5年12月8日	状(ペ)	
各種預金月末現在高調 大正12年6月	状(孔)		〔欠損額補填方法案〕昭和5年9月7日	綴(ペ)	
本支店合算資金運用一覧表 大正12年6月	状(活)		借入金之証 昭和5年11月12日	袋入・状(墨)	585
伊勢原銀行第六拾期定時総会議題外追加承認の件 大正15年7月21日	綴(ペ)	574	山口左一・伊勢原銀行宛		
株式会社伊勢原銀行			東浦案 昭和5年11月25日	袋	586
日計表・他店貸借仕訳表 昭和2年3月19日-12月31日	状11(活・ペ)	575	内容		
株式会社伊勢原銀行			伊勢原銀行欠損額補填方法について	状(ペ)	
株主姓名表 昭和2年12月31日	冊(活)	576	山口左一宛東浦庄治書翰	状(ペ)	
伊勢原銀行			重要書類本提供書控	袋	587
当座預金借越約定書 昭和3年6月25日	袋入・綴(活)	577	内容		
山口左一・伊勢原銀行宛			〔欠損額補填〕覚 昭和7年3月16日	状(墨)	
日計表・他店貸借仕訳表 昭和3			山口左一・伊勢原銀行宛		
			提供済預金証書控	状(墨)	
			〔欠損額補填〕受領証 昭和7年		

3月18日 伊勢原銀行・山口左一宛 提供之証 昭和7年7月15日 山口左一・伊勢原銀行宛 残金八千円返金ニ付本証在中 内容 〔欠損額補填〕覚 昭和7年3月16日 山口左一・伊勢原銀行宛 株主姓名表 昭和7年6月30日 伊勢原銀行 第参回（最終）提供之証控 昭和7年11月12日 山口左一・伊勢原銀行宛 〔書簡 伊勢原銀行合併による解散 手続の件〕昭和7年12月29日 取締役佐野恵三郎・山口左一宛 国債証券・社債券・諸株式持株明 細書 〔伊勢原銀行〕 ○	状(ベ) 状(ベ) 袋 状(墨) 冊(活) 袋入・状(ベ) 袋入・状(ベ) 状2(ベ)	588 589 590 591 592	都南貯蓄銀行取締役頭取田辺徳五郎・山口左一宛 同封 〔払込ニ対スル礼状〕 〔都南貯蓄銀行関係書類〕 内容 〔第十六回定時株主総会開催通知〕 昭和5年1月27日 取締役頭取田辺徳五郎 〔第十八回定時株主総会開催通知〕 昭和6年1月27日 取締役頭取田辺徳五郎 株主名簿 昭和4年12月31日一昭和6年6月30日 株式会社都南貯蓄銀行 〔株式会社都南貯蓄銀行業務報告書〕 昭和3年一昭和19年 内容 第16—18・20—21・23・26・28—29・34—35・38—39・42・45各期業務報告書 ○	状4(活) 冊3(活) 冊14(活)	602 603 604
第56期営業報告 大正13年7月26日 伊勢原銀行 昭和元年度下半期営業報告書 昭和2年1月23日 伊勢原銀行 昭和二年上半期営業報告書 昭和2年7月22日 伊勢原銀行 昭和二年上半期貸借対照表及財産目録・昭和2年上半期損益計算表 昭和2年7月22日 伊勢原銀行頭取山口左一 昭和二年下半期営業報告書 昭和3年1月9日 株式会社伊勢原銀行・山口左一 昭和二年下半期営業報告書 昭和3年1月19日 伊勢原銀行 昭和四年下半期貸借対照表及財産目録・昭和四年下半期損益計算書 昭和5年1月30日 伊勢原銀行頭取山口左一 ○	状(活) 状(活) 状(活) 状(活) 状(活) 状(活) 状(活) 状(活) 状(活) 状(活) 袋入・状2(活)	593 594 595 596 597 598 599 600 601	第六拾壹期営業報告書 昭和3年7月17日 神奈川県農工銀行 第六拾壹期営業報告書 昭和3年7月17日 神奈川県農工銀行 昭和六年下半期第六拾七期業務報告書 昭和7年1月16日 神奈川県農工銀行 昭和八年上半期第七拾壹期業務報告書 昭和8年7月17日 神奈川県農工銀行 昭和九年上半期第七拾参期業務報告書 昭和9年7月16日 神奈川県農工銀行 昭和拾年上半期第七拾五期業務報告書 昭和10年7月17日 神奈川県農工銀行 昭和拾年下半期第七拾六期業務報告書 昭和11年1月17日 神奈川県農工銀行 昭和拾壹年上半期第七拾七期業務報告書 昭和11年6月17日 神奈川県農工銀行 昭和拾貳年上半期第七拾九期業務報告書 昭和12年7月17日 神奈川県農工銀行 昭和拾貳年下半期第八拾期業務報告書 昭和13年7月17日 神奈川県農工銀行	冊(活) 冊(活) 冊(活) 冊(活) 冊(活) 冊(活) 冊(活) 冊(活) 冊(活) 冊(活) 冊(活) 冊(活) 冊(活) 冊(活) 冊(活) 冊(活) 冊(活)	605 606 607 608 609 610 611 612 613

告書 昭和13年1月17日 神奈川県農工銀行	冊(活)	614	役員在職年数並ニ慰労金調 大正 10年1月25日	状(孔)	626
昭和拾四年上半期第八拾参期業務 報告書 昭和14年7月17日 神奈川県農工銀行	冊(活)	615	〔神奈川県農工銀行〕 農工銀行に対する希望について 大正11年9月	冊(活)	627
昭和拾七年上半期第八拾九期業務 報告書 昭和17年7月17日 神奈川県農工銀行	冊(活)	616	〔農工銀行関係書類綴〕 内容	綴	628
昭和拾七年下半期第九拾期業務報 告書 昭和18年1月16日 神奈川県農工銀行	冊(活)	617	總會ノ目的タル事項 (活) 壹百株以上株主氏名 大正11年 10月23日現在 (孔) 新株式募集手続 (活)		
○					
本支店合算資金一覧表 大正12年 5月	綴(活・ペ)	618	神奈川県農工銀行役員職員名簿 大正12年3月	冊(孔)	629
〔神奈川県農工銀行〕 合綴			職員以下人員数 大正12年4月10 日	状(孔)	630
各種預金月末現在高調 大正12 年5月	(孔)		〔神奈川県農工銀行〕 四百株以上株主氏名 大正12年6 月	状(孔)	631
農工債券預り金及貸出金月末現在 高表 大正11年7月	綴(孔)	619	〔神奈川県農工銀行〕 總會ノ目的事項〔大正12年〕	状(活)	632
調査係 合綴			〔神奈川県農工銀行〕 債券募集責任額ニ就テ〔大正〕	綴(孔)	633
各種預金月末現在高調 大正12 年7月	(孔)		〔神奈川県農工銀行〕 判任官俸給新旧比較〔大正〕8月 10日	綴(孔)	634
調査係			〔神奈川県農工銀行〕 役員在職年数並ニ慰労金調〔大正〕	状(孔)	635
農工債券預り金及貸出金月末現在 高表 大正11年9月	綴(孔)	620	〔神奈川県農工銀行〕 株式会社神奈川県農工銀行株主人 名簿(但二百株以上)昭和3年6月 30日	綴(孔)	636
〔神奈川県農工銀行〕 合綴			會議ノ目的事項〔昭和3年7月〕	状(活)	637
各種預金月末現在店別表 (孔)			〔神奈川県農工銀行〕 県支金庫事務取扱代理店	綴(孔)	638
本支店合算資金運用一覧表 大正 12年3月	状(活)	621	○		
〔神奈川県農工銀行〕 同添付			取締役会報告事項 大正10年4月 9日	状(孔)	639
各種預金月末現在高調 大正12 年3月	状(ペ)		〔神奈川県農工銀行〕 取締役会試案 大正10年10月16日	綴(孔)	640
本支店合算資金運用一覧表 大正 12年4月	綴(活・ペ)	622	〔神奈川県農工銀行〕 〔定時株主總會開催ニ付御通知〕大 正11年1月12日	状(活)	641
〔神奈川県農工銀行〕 合綴			農工信託株式会社取締役社長内 山敬三郎・山口左一宛		
各種預金月末現在高調 (孔)			取締役會議案 大正11年6月6日	綴(孔)	642
大正十二年下期ニ於ケル全国農工 銀行營業成績概観	冊(孔)	623	〔神奈川県農工銀行〕 臨時役員会開催通知 大正11年9		
〔神奈川県農工銀行〕					
第五十一期利益分配案〔大正12年〕	状(孔)	624			
〔神奈川県農工銀行〕					
○					
内規中改正ノ件 大正9年10月6 日	綴(孔)	625			
〔神奈川県農工銀行〕					

伊勢原電気株式会社 合綴 電気供給規定			相武電気株式会社取締役社長内 山敬三郎		
〔電気料金値上ノ事〕大正11年2月 26日	袋入・状(タ)	664	〔愛川電気株式会社前取締役広田精 一氏神戸高等工業学長就任ニ付 祝賀会開催ニ付御通知〕大正11 年2月1日	状(タ)	675
伊勢原電気株式会社・山口左一 〔電力料金ノ値上ニ関スル通知〕大 正11年2月	状(活)	665	相武電気株式会社社長内山敬三 郎・山口左一宛		
伊勢原電気株式会社・需用家宛 ○			重役会開催之件 大正11年3月2 日	袋入・状(タ)	676
臨時株主総会目録事項 大正9年 2月25日	状(活)	666	相武電気株式会社取締役社長内 山敬三郎・山口左一宛		
内山敬三郎・相武電気株式会社 社長			委任状〔及び合併ニヨリ臨時株主 総会開催の件〕大正11年3月19 日	状(活)	677
〔相武電気会社関係書類〕 内容	綴	667	内山敬三郎・山口左一宛		
〔監査役就任依頼〕大正9年3月 12日	(タ)		〔合併ニ付持株に対スル割当株数ノ 件〕大正11年3月30日	袋入・状(活)	678
内山敬三郎・山口左一宛			相武電気株式会社社長内山敬三 郎・山口左一宛		
〔監査役に選任通知〕大正9年3 月12日			同添付		
取締役社長内山敬三郎・山口 左一宛	(タ)		引受株数明細表	状(活)	
〔持株数通知〕大正9年6月7日			〔臨時株主総会ノ件ニツイテノ相談 会開催ノ事〕大正11年4月1日	状(活)	679
相武電気株式会社・山口左一 宛	(孔)		内山敬三郎・山口左一宛		
〔借入金決議〕大正9年12月20日			合併ニ関スル事項報告書 大正11 年4月5日	状(タ)	680
支配人内山丈・監査役山口左 一宛	(タ)		相武電力株式会社取締役社長内 山敬三郎		
〔緊急協議会開催通知〕大正9年 12月17日	(墨)		〔定期株主総会開催ニ付通知〕大正 11年6月10日	状(活)	681
相武電気株式会社・山口左一 宛			相武電力株式会社取締役社長内 山敬三郎・山口左一宛		
寄附金先左ノ通り 大正10年6月 24日	綴(孔)	668	〔村ノ電燈点火之件ニ対スル礼状〕 大正11年6月27日	袋入・状(墨)	682
田中重兵衛・山口相談役宛			中郡金田村村長田中八郎兵衛・ 山口左一宛		
株主姓名表 大正10年6月	状(活)	669	相武電力株式会社例規 大正12年 1月	冊(孔)	683
相武電気株式会社			相武電力株式会社		
〔定時株主総会開催通知〕大正10年 7月10日	状(活)	670	合併に関する調査報告書 大正12 年4月4日	状(タ)	684
相武電気株式会社取締役社長内 山敬三郎			相武電力株式会社監査役二見友 三郎		
重役会議案 大正10年10月14日	状(孔)	671	〔重役会開催之件〕大正10年4月19 日一大正10年10月22日	綴(タ)	685
重役会開催之件 大正10年12月31 日	状(活)	672	相武電気株式会社取締役社長内 山敬三郎・山口左一宛		
内山敬三郎・山口左一宛			第参拾期営業報告書 大正14年12 月31日	冊(活)	686
〔相武電力株式会社第二回株式総会 議案〕〔大正10年〕	綴(孔・カ)	673			
〔第貳拾貳定期株主総会ニ於決議 報告〕大正11年1月25日	状(活)	674			

相武電力株式会社				一宛	
第参拾五期営業報告書 昭和3年	冊2(活)	687		〔臨時及び定時株主総会通知書〕大	
7月1日				正11年6月4日	袋入・状2(孔) 696
相武電力株式会社				伊勢原自動車運輸株式会社取締役	
〔相武電力株式会社金目営業所ニ関	綴(ペ)	688		役社長加藤宗兵衛・山口左一宛	
スル件〕大正				同封	
相武電力株式会社金目営業所				委任状	
定款	冊(活)	689		自動車発車時刻表 大正12年7月	
相武電気鉄道株式会社				1日改正	状(活) 697
同添付				伊勢原自動車運輸株式会社	
〔同会社関係者氏名一覧〕				〔自動車価格下落状況調〕〔大正11	
○				年〕	状(ペ) 698
第式拾貳回報告書 昭和4年11月	冊(活)	690		同添付	
31日				〔自動車購入価格一覧〕	状(ペ)
東京発電株式会社				〔フォード自動車最新定価新聞切	
第式拾参回報告書 昭和5年5月	冊(活)	691		抜〕	
31日				事務員勤務成績表〔大正〕	状(カ) 699
東京発電株式会社				伊勢原自動車運輸株式会社	
運 輸				○	
鉄道構内停車御願 大正9年3月	綴(カ)	692		〔伊勢原自動車運輸株式会社社則改	
伊勢原自動車運輸株式会社設立				正原案〕	状(活) 700
発起人惣代加藤宗兵衛				伊勢原自動車運輸株式会社定款	
〔伊勢原自動車運輸株式会社関係書				〔大正9年2月〕	冊(活) 701
類〕	状6(ペ)	693		伊勢原運輸自動車株式会社	
内容				伊勢原自動車運輸株式会社定款	
運転料及給料各人月平均表				〔大正9年2月〕	冊2(活) 702
運転手給料明細表 大正9年2				伊勢原自動車運輸株式会社	
月―11月				○	
乗車料金明細表 大正9年2月				第壹期貸借対照表 大正9年12月	
―11月				16日	状3(活) 703
揮発油消費表 大正9年2月―				伊勢原自動車運輸株式会社取締役	
11月				役社長加藤宗兵衛	
貸切車明細表 大正9年2月―				第一期営業報告(大正九年三月九日ヨ	
11月				リ大正九年十二月三	
乗合切符取扱金明細表 大正9				十日マデ)大正9年12月16日	状(ペ) 704
年2月―11月				伊勢原自動車運輸株式会社取締役	
〔組立車台代金領収証〕大正10年				役社長加藤宗兵衛	
4月26日	状(活)	694		第式期大正十年前半期諸計算書	
日本輪工株式会社・山口左一宛				(自大正九年拾貳月壹日)大正10年6	
〔伊勢原自動車運輸株式会社関係書				月15日	状2(活) 705
類綴〕	袋入	695		伊勢原自動車運輸株式会社社長	
内容				取締役加藤宗兵衛	
営業免許条件中変更願 大正10				〔伊勢原自動車諸計算書及減価償却	
年9月10日	綴(カ)			金内訳表〕大正10年12月15日	状(活) 706
専務取締役田中喜吉・県知事				取締役社長加藤宗兵衛	
井上孝哉宛				同添付	
同添付				〔同計算書及内訳表草稿〕	綴(カ)
〔重役会開催通知〕大正10年9月				〔伊勢原自動車運輸株式会社関係書	
10日	状(カ)			類〕	状6(ペ) 707
社長取締役加藤宗兵衛・山口左				内容	

給料運転料共取揚金			同添付		
第貳期乗合切符各所売捌明細表・			〔相模自動車伊勢原自動車第三期		
第貳期 ^{大正9年12月ヨリ} ^{大正10年5月末日マデ} 乗車券			収入支出比較表〕	状2(カ)	
売捌金額表・第貳期揮発油消			〔伊勢原自動車利益金処分案〕	状(ベ)	714
費表并鑑当り取揚表			○		
第貳期運転手給料及運転歩合明			大正十年二月六日重役会議案 大		
細表			正10年2月8日	綴(ベ)	715
伊勢原自動車運輸株式会社大正			日本輪工株式会社・山口左一宛		
十年前半期 ^(自大正9・12・1) ^(至大正10・5・31)			合綴		
諸計算書			財産目録	(孔)	
第貳期会社直営車			貸借対照表	(孔)	
減価償却金計算表・減価償却金			日本輪工株式会社社内規 大正10年		
及諸積立金表・自動車償却金			7月15日	冊(孔)	716
明細表・建物及附属設備償却			〔重役会出席旅費送金通知〕大正11		
金明細表・什器備品償却明金			年3月3日	状(孔)	717
細表			日本輪工株式会社販売部・山口		
〔伊勢原自動車運輸株式会社関係書			左一宛		
類綴〕	綴(カ)	708	電気計器検定合格証書 大正6年		
内容			10月3日	袋入・状(活)	718
第四期取上金明細表			通信省		
第四期減価償却金内訳表 大正			同封		
10年12月一11月5日			領収書		
第四期所得税金明細書			大山鋼索鉄道株式会社設立趣意書・		
大正十一年五月三十一日現在株			起業目論見書・建設費概算書・		
主人名及株式数			営業収支概算書・定款 昭和2		
〔伊勢原自動車運輸株式会社関係書			年10月	冊7(活)	719
類綴〕	綴(カ)	709	大山鋼索鉄道株式会社創立事務		
内容			所		
第四期減価償却金内訳表 大正			〔大山鋼索鉄道株式会社〕株式申込		
10年12月一11月5日			証 昭和3年	状(活)	720
貸借対照表			第壹回営業報告書 昭和4年6月		
損益計算表			30日	冊(活)	721
利益金処分案			大山鋼索鉄道株式会社		
〔伊勢原自動車決算報告書〕大正11			同添付		
年6月18日	状(活)	710	第壹回定時株主總會決議事項報		
取締役社長加藤宗兵衛			告 昭和4年7月24日	状(活)	
〔伊勢原自動車運輸株式会社決算報			○		
告書類〕	状5	711	第四十五期前半年度日本郵船株式		
伊勢原自動車運輸株式会社取締			会社営業報告書 昭和6年5月		
役社長加藤宗兵衛			30日	冊(活)	722
内容			日本郵船株式会社株主姓名簿 昭		
第六期貸借対照表(大正12年5月			和5年5月	冊(活)	723
31日現在) 大正12年6月16日	(活)		日本郵船株式会社		
第六期損益計算書 ^{(大正11年12月1} ^{日ヨリ大正12年}					
5月31	(カ)				
日マデ)	(カ)				
第六期減価償却金内訳表	(カ)				
第六期従業員成績表 ^{(大正11年12月} ^{1日ヨリ大正}					
12年5月	(カ)				
31日マデ)	(カ)				
〔自動車会社第一期ヨリ第四期マデ					
取得金明細書〕	綴(カ)	713	相模水力電気工事設計予算収支予	冊(孔)	725
			算書 明治42年9月		
			神奈川県中郡秦野町・相模水力		

電気株式会社創立事務所宛 〔発電原動力ニ供スル水ノ使用出願 ニ具備スヘキ事項〕大正6年5 月9日 神奈川県・中郡高部屋村梶寅之 助他15人宛 電燈供給規定〔大正10年1月1日〕状(活) 愛川電気株式会社 台湾製糖株式会社定款 大正十年 三月一日 台湾製糖株式会社 横浜商業会議所事務報告第五回 大正十年九月 横浜商業会議所 第七拾貳回報告 昭和5年6月25 日 横浜船渠株式会社 当座預金借越約定書 昭和六年一 月二十六日 山口左一・足柳農商銀行宛 ○ 第八回營業報告書 昭和5年4月 10日 帝国蚕糸倉庫株式会社 第九回營業報告書 昭和5年10月 11日 帝国蚕糸倉庫株式会社 第拾回營業報告書 昭和6年4月 6日 帝国蚕糸倉庫株式会社 第拾貳回營業報告書 昭和7年4 月12日 帝国蚕糸倉庫株式会社 第拾五回營業報告書 昭和8年10 月13日 帝国蚕糸倉庫株式会社 第拾六回營業報告書 昭和9年4 月10日 帝国蚕糸倉庫株式会社 第拾八回營業報告書 昭和10年4 月10日 帝国蚕糸倉庫株式会社 第拾九回營業報告書 昭和10年10 月14日 帝国蚕糸倉庫株式会社 第貳拾回營業報告書 昭和11年4 月13日 帝国蚕糸倉庫株式会社 第貳拾貳回營業報告書 昭和12年 4月9日 帝国蚕糸倉庫株式会社 第貳拾五回營業報告書 昭和13年 10月11日 帝国蚕糸倉庫株式会社 第貳拾九回營業報告書 昭和15年 10月14日 帝国蚕糸倉庫株式会社 第參拾壹回營業報告書 昭和16年 10月10日 帝国蚕糸倉庫株式会社 第參拾貳回營業報告書 昭和17年 4月13日 帝国蚕糸倉庫株式会社 第參拾六回營業報告書 昭和19年 4月7日 帝国蚕糸倉庫株式会社 第參拾八回營業報告書 昭和20年 4月13日 帝国蚕糸倉庫株式会社 ○ 相模精麦株式会社定款〔昭和5年〕 昭和4年 下半年 第壹期營業報告 昭和5年 2月28日 相模精麦株式会社 農 会 湘南地区 第一回湘南農会報告・第二回湘南 農会報告会 明治24年4月・7 月 湘南農会 第三回湘南農会品評会 明治24年 7月 湘南農会 中郡地区 通告書〔中郡農会委員満期ニ付選 挙会施行ニ関スル通知〕明治30 年12月18日 高部屋村長小沢兵太郎・山口左 七郎他2名宛 関西地方優良町村視察談 大正3 年3月31日 関西地方視察員一行露木房吉他 4名・中郡農会長宗真彦宛 神奈川県 神奈川県農会報 第31号 明治40 年10月刊 神奈川県農会報 第122号 大正4	綴(孔)	726	綴(活・墨)	731	冊(活)	732	冊(活)	733	冊(活)	734	冊(活)	735	冊(活)	736	冊(活)	737	冊(活)	738	冊(活)	739	冊(活)	740	冊(活)	741	冊(活)	742	冊(活)	743	冊(活)	744	冊(活)	745	冊(活)	746	冊(活)	747	冊(孔)	748	冊(孔)	749	冊(活)	750	冊(活)	751	状(墨)	752	冊(孔)	753	冊(活)	754
---	------	-----	--------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----	------	-----

年 3 月刊	冊 5 (活)	755	組 合		
内容:			電話新設ニ関スル書	袋入	770
近古穀価賃銀公課田地譲渡五人組に関する資料			内容		
農会法 大正11年 9 月刊	冊 (活)	756	伊勢原特設電話組合規約 大正10年11月		
神奈川県農会編			伊勢原特設電話組合	状 (活)	
会則及細則 大正11年12月刊	冊 (活)	757	特設電話加入者番号表	状 (活)	
神奈川県農会			伊勢原局電話加入者予納金及寄付金調書	綴 (カ)	
会則及細則 大正12年 1 月 1 日	横冊 (活)	758	〔伊勢原局電話加入者予納金及寄付金調書〕	状 (カ)	
神奈川県農会			〔電話開設予算見積〕	状 (ペ)	
農村問題講演筆記自作農奨励策に就て 大正12年 7 月	冊 (活)	759	○		
和歌山県農政倶楽部			〔購買組合パンフレット〕 大正11年10月	冊 3 (活)	771
神奈川県農会報 第184号 大正13年 5 月刊	冊 (活)	760	産業組合中央会		
内容: 農会役職議員名簿			内容: なぜあなたは購買組合にお入りになりませんか		
神奈川県農会議員特別議員及予備議員名簿 (任期昭和 6 年 3 月 31 日) 大正15年一昭和 2 年	状 (孔)	761	産業組合 第二百十六号	冊 (活)	772
神奈川県農会議案 大正15年一昭和 2 年	冊 (孔)	762	産業組合中央会		
神奈川県農会郡市町村農会技術員役置奨励規則 大正15年 8 月 21 日	状 (活)	763	役員会議案 昭和 4 年	綴 (孔)	773
神奈川県農会			〔組合報告書表紙欠〕 昭和 8 年 4 月 17 日	冊 (孔)	774
昭和二年度神奈川県農会費更正予算書	綴 (孔)	764	組合長理事小沢光男 (他 8 名)		
合綴			産業組合設立ニ付協議案	綴 (孔)	775
昭和二年度神奈川県農会経費分賦収入方法書			合綴		
郡市町村農会技術員設置奨励規則改正案旅費規則改正案			産業組合設立要項		
神奈川県農会経費更正予算書 昭和 2 年	綴 (孔)	765	産業組合要報 第18号	冊 (活)	776
神奈川県農会会則及細則 昭和 2 年 8 月	冊 (活)	766	産業組合中央会神奈川県支会		
神奈川県農会			○		
大正十五年度事業成績及決算書 昭和 2 年 8 月	冊 (活)	767	秦野煙草耕作組合総合会用 大正15年一昭和 3 年	袋入	777
神奈川県農会			秦野煙草耕作組合		
その他			内容		
大日本蚕糸会神奈川支会第二回蚕業共通会及神奈川県立原蚕種製造所創立十周年並新築落成記念写真帳 大正 9 年10月24日	冊 (活)	768	役員名簿	綴 (ペ)	
大日本蚕糸会神奈川支会			昭和三年度煙草苗木品評会町村別擬賞点数表	綴 (孔)	
中郡養蚕研究所出金額台帳 明治 29年11月10日	冊 (墨)	769	煙草包装用当紙単価	綴 (孔)	
			第五十七期末貸借対照表 大正15年 6 月 30 日	綴 (孔)	
			議案第二号 昭和三年度秦野煙草耕作組合聯合会歳入歳出予算 昭和 3 年 3 月 12 日	冊 (孔)	778
			聯合副会長谷初太郎		
			煙草包装用当紙購買規程 昭和 3 年 5 月 1 日	状 (孔)	779
			秦野煙草耕作組合連合会副会長長谷初太郎		
			議案第三号 煙草包装用当紙購買		

規程〔昭和3年5月1日〕 連合副会長谷初太郎	状(孔)	780	日 大日本報徳社・山口左一宛	状(石)	
議案第四号 昭和三年度秦野煙草 耕作組合連合会特別会計煙草当 紙事業費歳入歳出予算 昭和3 年6月16日	袋入・冊(孔)	781	報徳教会仮規則下案 ○ 共済会規約 大正4年9月8日 伊勢原警察分署	状2(活)	791
秦野煙草耕作組合聯合会・山口 左一宛			地 図		
議案第四号 昭和三年度秦野煙草 耕作組合連合会特別会計煙草当 紙事業歳入歳出予算 昭和3年 6月16日	冊(孔)	782	郡内郵便線路略図〔明治8年〕	折(墨)	793
連合会長山口左一			神奈川県全図 昭和12年 縮尺19万分の1・三色彩	舗	794
秦野煙草耕作組合連合会規約	冊(活)	783	足柄下郡仙石原村全図 縮尺1万5千分の1	舗	795
○			大住洵綾二郡前の地図 昭和3年	袋入・舗	796
昭和4年度報告書 昭和5年1月 22日	冊(活)	784	山 口 家		
保証任神奈川県信用組合連合会 総会議議案 昭和11年3月25日	冊(活)	785	家		
中郡比々多岡崎耕地整理組合第 三区			戸 籍		
結 社			〔戸主山口左七郎家戸籍謄本〕〔明治〕	綴(墨)	797
共伸社申合規則〔明治14年3月〕	冊(活)	786	戸籍謄本〔戸主山口左一家〕	冊(ペ)	798
共伸社申合規則〔明治14年3月〕	冊(活)	787	辞令・証書		
〔開全会〕会則〔明治〕	冊(活)	788	〔第十一・十二大区出張命令〕明治 10年3月9日	状(墨)	799
内容:知識好誼開全を目的とし た輪読会会則			神奈川県・山口左七郎七等属宛		
〔儲畜同盟社則〕〔明治〕	状4(墨)	789	〔各大区出張命令〕明治10年7月25 日	状(墨)	800
○			神奈川県・山口左七郎七等属宛		
大日本報徳社関係書一切入 内容	袋入	790	〔大住洵綾両郡長任命〕明治11年11 月18日	状(墨)	801
〔二宮尊徳座像写真〕			神奈川県大書記官小島信民・山 口左七郎宛		
報徳訓	幅(石)		〔学区取締兼務任命〕明治11年12月 27日	状(墨)	802
〔天照皇大神の軸〕	幅(石)		神奈川県・山口左七郎宛		
大日本報徳社通則・大日本報徳 社定款 大正3年3月	冊(活)		〔徴兵事務官任命〕明治14年9月20 日	状(墨)	803
報徳家庭会規範 大正4年2月	折本(活)		神奈川県・山口左七郎宛		
報徳教へ草 明治44年2月10日	冊(活)		〔大住洵綾両郡長依願免本官〕明治 14年11月21日	状(墨)	804
岡田良一郎			神奈川県・山口左七郎宛		
三才報徳現量鏡 昭和6年12月 31日	冊(活)		〔大住郡県会議員当撰〕明治15年11 月29日	状(墨)	805
大日本報徳社			大住洵綾両郡長飯岡頼重・山口 左七郎宛		
大日本報徳社善種金永安証券 大正6年10月9日	包紙入・状2(銅・ 石)		衆議院議員之証 明治23年7月10 日	状(墨)	806
理事社長岡田良平・山口左一 宛			神奈川県知事浅田徳則・山口左 七郎宛		
同添付			○		
大日本報徳社員之証 大正6年 10月9日	状(活)				
土台金領収証 大正6年10月9					

告知届〔高部屋村々会議員当選通告〕 明治25年4月22日 村長堀江喜三郎・山口左七郎宛	状(墨)	807	託任命〕昭和4年2月26日 支会長池田宏・山口左一宛 ○	状(孔)	821
御届〔村会議員辞職願〕 明治28年3月27日 山口左七郎・高部屋村村長梶寅之助宛	状(墨)	808	〔尋常小学第一年課業履修証書〕 明治21年4月17日 上粕屋学校・山口恒宛	状(活)	822
御届〔村会議員辞職願草稿〕 明治28年3月27日 山口左七郎・高部屋村村長梶寅之助宛	状(墨)	809	〔尋常小学校第二年課程履修証書〕 明治22年4月24日 上粕屋学校・山口恒宛	状(活)	823
〔村長辞職願及医師診断書〕 明治28年4月18日 山口左七郎・高部屋村村長代理助役原政吉	綴(墨)	810	〔尋常小学科第三年課業履修証書〕 明治23年4月19日 上粕屋学校・山口恒宛	状(活)	824
当選状 明治31年4月21日 高部屋村長小沢兵太郎・高部屋村会議員山口左宛七郎	状(墨)	811	〔尋常小学科卒業証書〕 明治24年3月26日 上粕屋学校・山口恒宛	状(活)	825
〔大磯税務署相続税審査委員任命〕 明治41年10月26日 大蔵省・山口左七郎宛 ○	状(活)	812	〔高等小学科第一年課業履修証書〕 明治25年3月24日 上粕屋学校・山口恒宛	状(活)	826
〔地方改良事業講習会講習修了証書〕 明治42年11月1日 内務省・山口左一宛	状(才)	813	〔第六級脩成証書〕 明治27年3月1日 三郡共立学校・山口恒宛	状(活)	827
当選状〔高部屋村会議員一級総選挙〕 大正6年4月24日 高部屋村長田中安太郎・山口左一宛	状(墨)	814	〔第五級脩成証書〕 明治27年9月1日 三郡共立学校・山口恒宛	状(活)	828
〔蚕業調査会委員任命〕 大正7年9月30日 神奈川県・山口左一宛	状(墨)	815	〔第四級脩成証書〕 明治28年4月1日 三郡共立学校・間宮恒宛	状(活)	829
〔蚕業調査会委員嘱託願〕 大正7年10月3日 神奈川県内務部長・山口左一宛	状(ペ)	816	〔第二年課業履修証書〕 明治29年4月1日 三郡共立学校・間宮恒宛	状(石)	830
〔蚕業調査会委員任命〕 大正9年7月22日 神奈川県・山口左一宛	状(墨)	817	〔第三年課業履修証書〕 明治31年4月 私立麻布尋常中学校・間宮恒宛	状(活)	831
〔学務委員当選〕 告知書 大正10年5月6日 高部屋村長守屋閻三郎・山口左一宛	状(墨)	818	〔第四年級〕 修業之証 明治32年4月12日 私立麻布中学校・間宮恒宛 ○	状(石)	832
〔中郡農会特別任命〕 大正12年5月19日 中郡長岡田純夫・山口左一宛	状(墨)	819	第二高等学校入学志願者心得 昭和6年12月 同添付 昭和七年度 入学志願者心得 昭和6年12月 水戸高等学校 成城高等学校 成城小学校 入学案内	折(活)	833
〔大日本蚕糸会神奈川支会商議員嘱託任命〕 昭和4年2月22日 会頭牧野忠篤・山口左一宛	状(才)	820	昭和七年度 高等学校及専門学校入学試験要項 培風館	折(活)	
〔大日本蚕糸会神奈川支会商議員嘱託任命〕 昭和4年2月26日 支会長池田宏・山口左一宛 ○			第二高等学校学則摘要 附細則摘要 尚志会々則 昭和七年度 静岡高等学校入学志願	折(活)	

名票	状(活)		神奈川県支部長周布公平・山口		
水戸高等学校入学志願者名票	折(活)		左一宛		
全国高等学校入試科目 昭和7年	折(活)		〔愛国婦人会中郡幹事委員嘱託中ノ		
静岡高等学校入学志願者心得	折(活)		尽力ニ対シ感謝状〕明治43年12	状(石)	844
昭和7年12月	折(活)		月26日		
静岡高等学校入学志願者心得	折(活)		神奈川県支部長周布貞子・山口		
昭和6年12月	折(活)		左一宛		
成城高等学校学則	折(活)		〔高部屋村学務委員退職ニ付感謝状〕		
東京帝国大学学生証 昭和13年4月	折(活)		大正15年2月11日	状(墨)	845
東京帝国大学・山口亮吾宛	冊(活)		高部屋村長守屋閔三郎・山口左一宛		
東京帝国大学工学部学修簿			〔葉煙草耕作ノタメ勸農社ヲ設立シ		
			改良発達ニ尽シタコトニ付感謝		
			状〕大正15年10月31日	状(墨)	846
			勸農社社員一同・山口左一宛		
褒 賞			吉 凶		
〔桑苗木無代価栽植ニ付褒状〕明治8年9月	状(墨)	834	恒固葬儀雑誌 明治31年3月10日	横冊(墨)	847
足柄県・山口左七郎宛			山口左七郎		
〔郡長事務勉勵ニ付褒状〕明治12年12月3日	状(墨)	835	泰嶽院〔山口左七郎〕葬儀費明記		
神奈川県・大住洵綾両郡長山口左七郎宛			明治45年2月21日	横冊(墨)	848
〔虎列刺病流行ノ際勉勵ニ付慰労手当給与状〕明治12年12月27日	状(石)	836	泰嶽院懿徳信包居士〔山口左七郎〕		
神奈川県・大住洵綾両郡長山口左七郎宛			香奠院 明治45年2月21日	横冊(墨)	849
〔上粕谷小学校へ綱鑑易知録寄付ニ付褒状〕明治14年7月	状(墨)	837	泰嶽院懿徳信包居士〔山口左七郎〕		
神奈川県令野村靖・大住洵綾両郡長山口左七郎宛			葬儀控	横冊(墨)	850
〔三郡共立学校改築費寄付ニ付褒状〕明治26年10月10日	状(石)	838	法要帳〔山口家代々法要控〕	横冊(墨)	851
神奈川県知事野健明・山口左七郎宛			松嶽貞操大姉〔山口マツ子〕葬儀		
〔寒川神社修繕費寄付ニ付褒状〕明治28年12月10日	状(石)	839	明細帳 大正11年9月24日	横冊(墨)	852
神奈川県知事野健明・山口左七郎宛			廣嶽院玉節禪光大姉〔山口マキ子〕		
〔忠霊堂創立ノ寄付ニ付褒状〕明治32年5月30日		840	葬儀次第〕大正13年1月7日	横冊(墨)	853
忠霊堂創立事務所・山口左七郎宛			廣嶽院玉節禪光大姉〔山口マキ子〕		
			葬儀ニ関スル諸雜記 大正13年1月7日	横冊(墨)	854
			〔廣嶽院葬儀ニ関スル領収証〕〔大正13年2月〕	袋入(活)	855
			清光院三十三回忌常輝院二十七回忌廣嶽院七回忌法要帳 昭和5年4月19日	横冊(墨)	856
			靈光院〔山口左一〕葬儀費明記		
			昭和11年9月13日	横冊(墨)	857
			靈光院葬儀見舞整理簿 昭和11年9月13日	横冊(墨)	858
			靈光院葬儀参考控 昭和11年9月13日	横冊(墨)	859
			〔靈光院〕葬儀役割〔昭和11年9月13日〕	状(墨)	860
			故山口左一靈光院壽山帰一居士葬儀控	横冊(墨)	861
			靈光院壽山帰一居士一周年・常輝		

院圓覚慈昭大姉三十三回忌・広嶽院玉節横光大姉十三回忌・松巖貞操大姉十三回忌法要帳 昭和12年9月23日	横冊(墨)	862	年12月15日 〔開墾成功地大山町役場へ届出スベキニ付〕 明治25年8月23日 〔大山村地内開墾成功地々価申出ノ通り本年ヨリ修正地価ニヨル〕 明治25年8月16日 〔所得税額山口左七郎御送付ニ付〕 明治25年8月12日 納税調書 明治27年9月19日 〔地租所得税三百円以上納ムルモノヘノ至急納税額・住所・氏名・年令ヲ申告ノコト〕 明治27年9月15日 明治25年10月19日附 地目変換届書附録 明治30年4月 〔不動産登記〕 通知書 明治37年2月25日		
高嶽院大眞實道居士〔山口左右平〕法要帳 昭和24年3月26日	横冊(墨)	863			
法名〔高嶽大眞實道居士〕昭和24年3月28日 同添付:〔家族誕生日メモ〕 宗源寺正村泰道・山口家宛	状9(墨・ペ)	864			
高嶽眞實道居士葬儀控帳 昭和24年3月30日 山口匡一	横冊(墨)	865			
高嶽院大眞實道居士葬儀控帳 昭和24年3月30日 山口匡一	横冊(墨)	866			
高嶽院大眞實道居士・靈照院天真亮吾居士〔葬儀控〕昭和30年3月20日	横冊(墨)	867	〔土地売渡金〕受取之証 明治35年7月 山口左七郎 同添付 〔阿夫利神社ノ上地聞届書〕 明治39年6月4日 県知事周布公平 〔不動産ノ上地聞届書〕 明治39年7月20日 県知事周布公平 〔山口左七郎ノ上地聞届書〕 明治39年4月7日 県知事周布公平 土地表示更正登記申請書 明治45年4月11日 山口左一・小田原区裁判所伊勢原出張所宛 土地表示更正登記申請書副本 明治45年4月11日 相続税課税価格決定通知書 大正元年12月11日 大磯税務署長二宮茂一郎・山口左一宛 〔相続税の件照会回答〕 大正元年2月 大磯税務署勅使河原属・山口左一宛 土地分筆届 大正8年4月18日 山口左一・大磯税務署長坂本徳彦宛 土地表示変更登記申請書 大正8年8月16日 山口左一・小田原区裁判所伊勢原出張所宛	綴(墨)	872
〔靈照院天真亮吾居士五七忌法要次第〕〔昭和28年1月18日〕	横冊(墨)	868			
泰嶽院懿信包居士・廣嶽院五節横光大姉・靈光院等山帛一居士・高嶽院大眞實道居士・靈照院天真亮吾居士法要帳 昭和37年9月23日	横冊(墨)	869			
○					
匡一結婚式祝品控 昭和33年4月4日	横冊(墨)	870			
諸訴願届					
書類綴込 内容 紛失品御届 換印御届 明治17年7月1日 地所譲渡証 明治17年8月 畑宅地域御届 明治17年10月18日 日 変換地々価取調書 地所交換之証 明治19年5月21日 日 荒地起返り地価修正願 明治21年 日 地目変換届 〔伊勢原町板戸地目変換届ノ通り地価ヲ修正スル件〕 明治36年12月16日 開墾届 明治25年3月30日 開墾届 明治23年8月 土地分裂届 明治24年12月15日 開墾嶽下半年時成功届 明治24	冊(墨)	871		綴8(墨)	
				綴(墨)	
				袋入・状(活・墨)	
				袋入・状3(墨)	
				綴(墨・鉛)	
				綴(活・ペ)	

委任状 大正13年 山口左一	袋入・状(墨)		第七号地租改正地引簿〔明治9年〕横冊(墨)	882
土地表示更正登記申請書 大正 15年5月15日 山口左一・小田原区裁判所伊 勢原出張所宛	綴(活・カ)		山口左七郎	
抵当権一部解除承諾請求書 大 正15年1月 山口左一・日本勧業銀行総裁 梶原仲治宛	状2(カ)		第九号田畑繩入帳〔明治9年〕横冊(墨)	883
土地所有権移転登記申請書 昭 和4年3月18日 山口左一・小田原区裁判所伊 勢原出張所宛	綴(活・カ)		第十号地租改正地引簿 山口左七郎	884
土地表示更正登記申請書 昭和 4年3月18日 山口左一・小田原区裁判所伊 勢原出張所宛	綴(活・カ)		第十一号田圃山林繩入簿〔明治9年〕横冊(墨)	885
〔相続税の件通知〕 勅使河原・山口左一宛	袋入・状(墨)		田畑山林斜結簿 明治9年6月21 日 山口	886
相続財産目録	綴2(墨・鉛)		地図ニ入直シ分 田畑山林再改実 地書抜帳 明治9年6月30日	887
〔小作料調査〕	綴3(鉛・墨)		三之宮村地租改正地引簿写 明治 9年8月25日	888
〔相続地筆数の件〕	状(墨)		山口左七郎	
〔不動産関係断簡〕			田畑宅地山林等級地価名寄簿 明 治12年	889
○			山口左七郎	
〔埋蔵物問題ニ対スル小田原区裁判 所判決文謄本〕大正4年6月9 日 小田原区裁判所	綴5(墨)	873	地所買入質取総反別帳 明治13年 1月	890
埋蔵物下附願 大正4年10月13日 山口左一・神奈川県知事有吉忠 一	綴(墨)	874	山口左七郎	
〔埋蔵物所有権ニ関シテ〕意見書 大正4年12月 原嘉道	綴(ペ)	875	〔高部屋村分〕名寄帳写 明治33年 8月 山口氏	891
経 営			〔地租名寄帳〕昭和12年3月 山口左右平・山口左一・山口ミ ユキ・山口左七郎	892
土 地			土地所有証明書〔昭和〕	893
第一号地租改正地引簿 山口氏	横冊(墨)	876	〔地引帳〕	894
第二号地租改正地引簿 山口氏	横冊(墨)	877	〔地引図〕	895
第三号地租改正地引簿 山口氏	横冊(墨)	878	〔地引図〕	896
第四号地租改正地引簿 山口氏	横冊(墨)	879	〔地引図〕	897
第五号地租改正地引簿 山口氏	横冊(墨)	880	〔地引図〕	898
第六号地租改正地引簿〔明治9年〕 山口左七郎	横冊(墨)	881	地租改正地引簿〔明治〕 山口市之丞	899
			宇足立岡・秋山北側・鍛冶ヶ谷土・ 峯岸前斜結改帳〔明治〕	900
			斜結改簿〔明治〕 山口左七郎	901
			斜結改帳〔明治〕 山口左七郎	902
			田畑斜結改簿〔明治〕 〔山口左七郎〕	903
			再改帳	904
			田圃反別検査帳 山口左七郎	905

〔左七郎所有地書上〕〔明治〕	横冊(墨)	906	山林抜木取調帳 明治22年 3 月	横冊(墨)	929
〔左七郎所有地書上〕〔明治〕	横冊(墨)	907	山口		
田畑山林編入簿〔明治〕	横冊(墨)	908	山林抜木取調帳 明治22年 4 月	横冊(墨)	930
山口両家分			山口		
〔反別書上〕〔明治〕	横冊(墨)	909	黒岩上中久保杉数取調帳 明治22		
〔山口左七郎〕			年10月12日	横冊(墨)	931
〔字別宅地田畑書上〕	冊(墨)	910	山林帳 明治24年 1 月—28年 1 月		
〔山口家畑方反別帳〕	横綴(墨)	911	18日	横冊(墨)	932
〔山口家田畑反別帳〕	横冊(墨)	912	中丸山林樵取調 明治25年10月15		
〔山口家山林反別帳〕	横冊(墨)	913	日	横冊(墨)	933
○			升次郎		
登記簿抄本 大正 9 年 9 月 6 日	状 4 (活・ペ)	914	横山取調帳 明治29年	横冊(墨)	934
小田原区裁判所伊勢原出帳所			山口		
家屋台帳謄本〔昭和10年〕	冊(活)	915	薪・横材山取調帳 明治30年12月	横冊(墨)	935
同添付			薪材調 明治32年 1 月	横冊(墨)	936
家屋台帳謄本の領収書			常盤重吉・山口多郎宛		
家屋税の一般調書と家屋の申告			葉久保山林第八区取調帳 明治34		
に就て			年 1 月	横冊(墨)	937
東京税務監督局・税務署			山口		
桑園貸付明細簿 明治27年 9 月	横冊(墨)	916	薪材調 明治36年 1 月	横冊(墨)	938
管理者中村			葉久保神成松 明治41年 9 月	横冊(墨)	939
畑方名寄帳写	冊(墨)	917	山林取調帳杉間材調 第 2 号	冊(鉛)	940
山 林			稲荷山調帳 大正元年 9 月 5 日	冊(鉛)	941
立木調字上峯廻り松五尺以上長間			○		
以上木数取調帳 明治 7 年 7 月			立木買渡証 明治11年 4 月 2 日	状(墨)	942
29日	横冊(墨)	918	三橋郡治郎・山口左七郎宛		
山口左七郎			〔立木売買〕契約書 明治20年 8 月		
合冊			15日	状(墨)	943
五郎ヶ谷戸立木取調簿 明治11			井上伊兵衛・山口左七郎宛		
年 5 月25日			用材買受証 明治20年 8 月	状(墨)	944
山口			井上伊兵衛・山口左七郎宛		
樵杉廻り尺取調簿 明治 9 年 4 月	横冊(墨)	919	木口売揚帳 明治20年 9 月	横冊(墨)	945
屋論久知			井上伊兵衛		
山林帳 明治14年	横冊(墨)	920	山林伐木法約定〔明治21年 1 月〕	冊(墨)	946
山口左七郎			山口左七郎		
山林簿 明治14年 9 月	横冊(墨)	921	覚書〔木材売買ノ契約ニ関スル件〕		
再調山林簿 明治14年 9 月	横冊(墨)	922	大正 3 年10月 5 日	綴(墨)	947
山林取調簿 明治14年 9 月	横冊(墨)	923	山口左一		
山口左七郎			風損木調 明治33年11月17日	横冊(墨)	948
山林上木控 明治19年 1 月23日	冊(墨)	924	〔立木総代価調〕	状(墨)	949
秋山彦七郎			〔山林関係書類一括〕大正 3 年— 7		
山林取調帳 明治20年 2 月	横冊(墨)	925	年		950
山口			小 作		
山林生調帳 明治21年 1 月13日	横冊(墨)	926	小作米作地口々取調簿 明治13年		
山口			11月改メ間宮	横冊(墨)	951
山林取調帳 明治21年10月 4 日	横冊(墨)	927	耕作物領収簿 明治21年12月	横冊(墨)	952
山林帳 明治22年	横冊(墨)	928	中村		

明治21年田畑自作地實際收穫及耕作ニ対スル実費明細調 明治23年8月18日 柏木太右衛門	綴(墨)	953	和17年1月1日] [山口左右平]	横冊(墨)	970
明治22年田畑自作実務收穫及該耕作ニ対スル実費明細調 明治23年8月22日 越地市太郎	綴(墨)	954	○ 田畑宅地貢租上納達控 明治12年 山口左七郎	冊(墨)	971
山口左七郎方取賄い分〔小作者取調書上〕〔明治〕 山口左七郎	横冊(墨)	955	明治四十一年分所得金額申告書 〔明治41年〕 〔山口家分〕	状(墨)	972
〔小作米取調帳〕〔明治〕	横冊4(墨)	956	大正七年第三種所得金額申告 大正7年4月29日 〔山口左一〕・大磯税務署宛		973
畑方取立帳〔穀物取立之事〕昭和2年一〔昭和7年〕 山口左一	横冊(墨)	957	貸 借 千円帳 明治8年1月 山口信包	横冊(墨)	974
〔自作及び小作者実態調査〕 内容: 家族構成・農地・建物 (図入)・副業等	状18(孔)	958	沼津間宮江掛文平貸金勘定帳 明治8年8月3日 〔實地預り証〕昭和8年10月7日 山口左七郎・原福太郎宛	横冊(墨)	975
家 計			○ 借用金証文写 明治12年11月30日 堀江仁・第44国立銀行小田原支店宛	綴(墨)	977
収 支			〔利子分受取証〕9月22日 伊藤作兵衛他1名・小嶋壮三宛	状(墨)	978
明治22年度歳入歳出調	冊(墨)	959	諸家計 日光行費用	状(墨)	979
月賄費分類表・受入之部 大正2年	綴2(活・ペ)	960	薬品之通 大正10年5月 柳川回春堂・山口宛	横冊(墨)	980
月賄費分類表 大正3年 山口納戸	冊(ペ)	961	○ 指定金銭信託期間延長証書 昭和8年1月25日	状(活)	981
金銀出入帳 大正5年1月 山口左一	横冊(墨)	962	三菱信託株式会社・山口みゆき宛 同封	状(活)	
〔月賄費分類表〕大正7・8・10年 当座帳〔穀物及金銭之事〕大正14乙丑年1月1日—15年丙寅年1月31日 山口左一	状37(ペ)	963	〔臨時財産申告証明書〕 指定金銭信託収益計算御通知 三菱信託依頼書	状(活)	
当座帳〔但昭和3年1月分欠〕昭和2丁卯1月1日—3戊辰年1月 山口左一	横冊(墨)	964	皇太子殿下御生誕記念保険証券の発行について 昭和9年2月 日本生命保険株式会社 同封: 我社の現況	状(活)	982
当座帳 昭和4己巳年1月1日—5庚午年1月31日 山口左一	横冊(墨)	966	保険料領収証書 昭和9年10月2日 日華生命保険株式会社・山口左一宛 同封	折(活)	
当座帳 昭和6辛未年1月1月—8癸酉年12月31日 山口〔左一〕	横冊(墨)	967	保険料御払込案内 昭和9年10	袋入・状4(活)	983
当座帳 昭和9甲戌年1月1日—〔12月31日〕 山口左一	横冊(墨)	968			
当座帳 昭和13戊寅年7月1日—〔16年12月31日〕 山口左右平	横冊(墨)	969			
当座帳 昭和16年1月1日—〔昭					

月 2 日 日華生命保険株式会社・山口 左一宛 受領票 昭和 9 年 10 月 2 日 定期預金利息計算書 昭和 13 年 2 月 17 日 秦野銀行伊勢原支店・山口亮 吾宛				補 遺 一大葡萄園開設費資金募集趣意 書 明治 23 年 12 月 冊(活) 993 高野正誠 海関税ヲシテ議會ノ協賛ヲ經ル ノ可否〔明治 24 年 12 月〕 綴(墨) 994 法律第八十四号に対する意見書 冊(活) 995 渡辺又三郎 〔紡績業者困難ニ付〕意見書 冊(活) 996 武相横断鉄道急設請願書 大正 3 年 1 月 23 日 冊(活) 997 後藤宗七他 818 名・貴族院議 長徳川家達宛
高部屋村国民健康保険組合袋 昭 和 14 年 6 月 袋 984 内容 受診証 状 7 (活) 被保険者山口左右平				○ 第二回内国勸業博覧会事項ニ付 論告〔明治 14 年 3 月〕
出資証券 昭和 26 年 3 月 31 日—28 年 10 月 31 日 袋入・状 5 (活) 985 高部屋村農業協同組合・山口多 恵子宛				○ 自明治十八年至二十二年米価額 状 2 (墨) 998 地方改良事業講演習〔演題及講 演者〕〔明治 42 年〕 状 2 (墨) 899 憂ふべき農村の現状 大正 13 年 1 月 袋入・冊(活) 1000 帝国農會・山口左一宛 米穀事情一覽表〔大正十二—昭 和 2 年度〕昭和 3 年 折(活) 1001 農林省農務局 農業団体統制ニ関スル件 国策会社 ニ就テノ検討〔昭和〕 冊(活) 1002
〔領収書・預り証〕明治 12・13・14 年 状 4・綴 4 (墨) 986 内容: 荷送証 交詢社 釀金領収 証				○ 満州金融制度並ニ政策改善ニ関 スル要請書 昭和 2 年 5 月 冊(活) 1003 満州商業會議所聯合會 銀行法并ニ銀行法施行ニ関スル 勅令及省令 昭和 2 年 11 月 冊(活) 1004 〔金融機關〕確定評価基準案〔昭 和 22 年〕 綴 2 (孔) 1005 〔政令 金融機關再整備法施行 令改正〕〔昭和〕 綴(孔) 1006
学 芸 手 記 淘詠集〔慶応二年六月跋 明治・ 写〕 冊(墨) 987 〔清水〕愛子 阿氣之頭支 春亀斎丸三著〔明治・ 写〕 綴(墨) 988 清水愛子 合綴 修行用心集 竹元斎量丸述〔明 治・写〕 清水愛子 十二能由断 竹元斎量丸〔文久 三年十月跋 明治・写〕 清水愛子				○ 人道教 明治 23 年 11 月 14 日 冊(活) 1007 京都市吉田平二郎 同好会雑誌号外 明治 24 年 2 月 冊(活) 1008 東京音楽学校同好会 工業經濟及政策参考書目録 綴(タイプ・孔) 1009
理科筆記(一) 冊(墨) 989 中郡高部屋小学校高等一年生山 口キク 四年漢文(山口先生)〔ノート〕 冊(墨) 990 四年甲山口左右平 参考にかきおく 状(墨) 991 内容: 法要倭約の遺言 その他 山口邸電灯布設平面図 大正 六 年四月二十六日 舗(鉛) 992				○ 東京印刷会社出版方法書 明治 14 年 5 月 綴(活) 1010

東京感化院慈善会規則 明治23 年7月29日 会長香川敬三他16名	状(活)	1011	〔相武電力株式会社重役会開催通 知〕大正11年4月18日 社長内山敬三郎・山口左一宛	袋入・状(孔)	1019
大日本教育会入会に関する件 明治23年12月25日 大日本教育会会長辻新次・山 口左七郎宛	袋入・状4(活)	1012	〔豆子電灯株式会社合併問題ニ付 臨時株主総会開催通知〕大正 11年5月10日 社長内山敬三郎・山口左一宛	袋入・状(活)	1020
帝国大学一覽略表 明治二十四・ 二十五年 帝国大学総長文学博士加藤弘 之・山口左七郎宛	折(活)	1013	〔重役会開催通知〕大正11年5月 22日 社長内山敬三郎・山口左一宛	袋入・状(孔)	1021
東洋英和女学校趣意書	冊(活)	1014	〔決算ニ付重役会開催通知〕大正 11年6月7日 社長内山敬三郎・山口左一宛	袋入・状(孔)	1022
東洋英和女学校学則 明治二十 五年改正	冊(活)	1015	○		
忠愛社設立概旨広報	冊(活)	1016	申置書〔明治〕 山口作助・おまつ宛	冊(墨)	1023
○			〔帝国議会議事記録〕明治23年一 24年 〔山口左七郎〕	冊(鉛)	1024
昭和十五年度事務報告 昭和16 年2月28日 高部屋村長原幸造	綴(孔)	1017	七五三鳥居修繕費寄付芳名簿 昭和3年3月	冊(墨)	1025
○			山口左右平の動静 昭和17年12 月	綴(孔)	1026
〔定時株主総会開催ニ付通知〕大 正11年1月10日 相武電気株式会社取締役社長 内山敬三郎・山口左一宛	状(活)	1018			